

神奈川県立鎌倉高校同窓会会報

あしお

第 36 号

特集 話題の人



“蒼、高鳴る”

丸山晶子（昭和63年卒業）

目 次

会長ご挨拶 ……………	3	第 27 回日本詩人クラブ新人賞受賞 ……	29
この一年間 (校長) ……………	4	鎌高卒、優れたアーティスト ……………	30
特集：話題の人「大崎麻子」 ……………	5	職員人事異動 ……………	37
私のお店紹介 ……………	10	部活動報告 ……………	37
わくわく キッズ コンサート ……………	12	大学別合格者数 ……………	44
在職中の鎌高の思い出 ……………	14	会計報告 ……………	45
同窓会・クラス会 ……………	16	協賛金納入者 ……………	46
“古希の会” 開催事前案内 ……………	20	総会案内 ……………	50
蘇れ! 鎌倉高校文化部活動! ……………	21	役員名簿 ……………	51
カナダからの手紙……………	25	編集後記 ……………	51
吉本芸人「ねたのおにいさん」 ……………	27		

題字：増田隆子 (旧姓／小島 昭和 41 年卒業)

表紙：作者略歴

丸山晶子【まるやま あきこ】(昭和 63 年卒業)

神奈川県藤沢市出身 藤沢市在住

小さな頃から絵を描くことが大好きで水彩画、油彩画、パステル画を趣味で描き続けてきた。その後京都で染織を学び、型染めや藍染めを中心に制作。

自ら名付けた“型絵染画”とは型染めの技法を取り入れつつ、彩色では単に色を染めるというよりは描くという絵画的な表現方法を使っている。湘南の四季の風景を主に制作。

2008 年 鷗沼桜が岡にアトリエ兼ギャラリー“あとリエ梅庵”をたちあげ、個展やグループ展、イベント、ワークショップも企画開催している。



御 礼

会 長 鈴木 勝 貴
(昭和 45 年卒)



今年も衣替えの季節が目の前になりました。会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は 2009 年 10 月からうしお会会長に就任し、早 8 年が経とうとしています。鎌倉高校は来年に創立 90 周年を迎えます。うしお会も新たな組織作りが必要であると考え、本年度が役員改選期でありますので会長等を一新して未来につながる組織にしたいと考えました。

本書記載の議案書にありますように、新会長に 1972 年 3 月卒業の渡辺晃氏を推薦いたします。彼は野球部で活躍し、そして鎌高の教師として、鎌高野球部顧問としても活躍をされました。鎌高の教

師時代には同窓会会報発行を始め、名簿管理等にも携わっておりました。お兄様二人も鎌高卒業生であり、鎌高愛には人一倍強い者であります。

是非とも新役員を本年の総会においてご承認いただき、新しいうしお会を皆様とともに作り上げていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

さて、これからの十年は技術の進歩により世の中が大きく変わっていくと予想されています。五、六年後には自動運転の車が町中を走っていることでしょうし、スーパールのレジもなくなっているかもしれません。人工知能が発達したら、人間の心と同じようなものもできるのだろうか。恐ろしくもあり、期待をするところでもあります。

私は以前から鎌高は学問だけでなく人を育てる場だと思っています。過去だけではなく現在も続いていると思っ

ています。体育祭・文化祭等学年を超えた協力、そして生徒の主体性で為し得た達成感。合唱コンクールではクラスの一体感。このような行事も人を思いやる心・人に感謝する心を育んできたものだと思います。

今年も第 8 回剣道部選手権大会を昭和 45 年卒の金澤明さんに開催していただきました。そして今年も多額の寄付を頂戴いたしました。本当にありがとうございます。金澤さんの鎌高と剣道部への愛を感じるところです。

来年の 90 周年には、多くの同窓生の皆様にご協力をいただきたくお願いいたします。そして共にお祝いをしようではありませんか。

結びに当たり、皆様のご協力ご支援に感謝し、うしお会会員の皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、我が鎌高の繁栄を祈念し挨拶いたします。



昭和 43 年体育祭 (テーマ明治百年でヒッピーの仮装)



昭和 44 年文化祭 (ところてん完売)

この一年間

校長 眞壁 広道



同窓会の皆様方には日ごろから様々な形で、お世話になっております。心から感謝を申し上げます。

この一年間の学校の様子について、お知らせしたいと思えます。

まず、学校の施設関係です。体育館の耐震工事が行われました。当初秋の初めに工事が始まる予定が大幅に遅れ、本格的に始まったのが11月となり、卒業式の本校での実施が危ぶまれましたが、関係の皆様のご尽力により、なんとか間に合わせていただきました。完成の引渡し前のなか卒業式を行いました。耐震改修の工事とはいえ、照明が明るく、

フロアがきれいになり、見違えるようになりました。フロアを守るため新たにシートも用意しました。

昨年度、学力向上進学重点校エントリー校、グローバル教育研究推進校の二つの指定を受け、いずれも本校がこれまで取り組んできた土台の上に立っての指定でしたので、これまでの取組みを充実、発展させるべく取り組みました。二つの指定の内容は相互に密接に関わっており、両者を関連づけての取組みとなりました。具体的には、英語の四技能に係る検定試験であるGTECを1、2年生全員対象に実施いたしました。もとより日ごろの授業でアクティビティーを大きく取り入れた授業を展開していることもあり、生徒はそれなりに満足の行く結果を残したようです。今年度は全学年を対象に実施する

こととしております。

オーストラリアとの交流事業では、昨年度は訪問をする年にあたり、20名の生徒がオーストラリア訪問団として出かけました。訪問団がその体験を生徒に伝える場を設けました。参加希望者が多く、選に漏れる生徒も多数いたことから、今年度は新たな事業として、希望者に対しカナダへの海外語学研修を行うことといたしました。1年生から3年生まで60名の生徒が夏休み中に出かけることとなっております。

授業の質と量の充実について、県全体で取り組んでいるところですが、前期と後期のアンバランスを見直し、前期の期末テストを夏休み以後に移し、鎌高祭を7月初めに実施することとしました。併せて、これまで隔年で実施してきた文化祭と体育祭ですが、

文化祭を毎年実施し、体育祭についてはキマスポと合体して形を改めて毎年行うとし、中身を検討することになりました。今年度については夏休み直前の2日間、初日は球技大会、2日目は集団競技等を実施することになります。

少しずつ形を変えながら、大きな可能性を秘めた生徒たちを、できるだけ大きく伸ばしたいと考えています。今年度もどうぞよろしく願います。



特集

II 話題の卒業生 II

関西学院大学客員教授

大崎麻子

ジェンダーの視点

今回は関西学院大学で教鞭を執る傍ら、フリーの国際協力・ジェンダー専門家として、又サウンダーモーニングレギュラー・コメンテーターとしても、幅広く活躍されており大崎麻子客員教授にジェンダーについて熱く語ってもらいました。

聞き手：S41年卒 森田豊文



— 今日はお忙しい中ありがとうございます。ごめいませう。

大崎 こちらこそ。

— 「うしお」の編集をしております。森田と申します。

大崎 よろしくお願ひします。

— まずは、大崎さんは何年卒になりますか？

大崎 平成元年、1989年です。

— そうですか！ びっくりしたんですけれど、大崎さんの生まれが、私の入社した時と同じなんです。

大崎 そうですか。

— とところで、鎌高では部活をやられていましたか？

大崎 ダンス部でした。

— ずっとダンス部で。

大崎 そうですね。文化部の発表会がメインでしたが、

夏の野球大会の応援にも行っていました。

— ああ、そうですね。ところで、担任の先生はどなたでしたか？

大崎 担任の先生は1年生が体育の岩田先生。2年生が理科の小林先生、3年生が社会科の阿部先生でした。

— 多分、私なんかの時代と

二十何年違いますから：

大崎 岩田先生は、当時はオジサン（笑）だと思っていたんですけど、10年くらい前に同窓会

に来て下さった時に「あの頃、28歳だったんだよ俺は。」とおっしゃって、皆でびっくりしました（笑）

— いずれにしても僕なんかの時代にはいりませんでしたね。二十何年ですからね。

大崎 先生は全部変わってしまったでしょうね。

— そうかもしれないですね。でも長い先生もいらっしやいましたけどね。1年生の時の社会科の金指先生とか。だいぶ年配で、鎌高にずっといらっしやるイメージがありましたけど、もしかしたらお若かったかも。

— とところで、鎌高に行かれたことはありますか？

大崎 一番最近だと10年くらい前です。

— では、もう校舎は鉄筋に建て替えられていましたね。門入って右側がグラウンドで左側に校舎があるんですけど。

大崎 かもしれないです。旧体育館はもう無くなっています、図

書館が綺麗なホールになっていて：

— 奥の方にありましたね。

大崎 はい。

— 国際理解ホール：

大崎 それです、それです。

— そうですね。懐かしいですよ。

大崎 そうですね、思い出はたくさんありますね。大人になってからの3年間であつという間は濃い時間でしたね。今も続いている友達もたくさんいますし。

— 高校時代が一番面白かったですね。

大崎 そうですね。楽しかったです。

鎌高といえば、やっぱり行事です。入学して直ぐに合唱祭があつて。中学の時のノリで皆ふざけて「合唱!」みたいな感じでしたけど、2年生と3年生が凄じやないですか。それを見て「こんなにマジなんだ」とか。あと、私たちの学年は体育祭が2回ありました。

— 応援団とかがいました？

大崎 応援団はいたかな？ 縦

割りのチームごとくにダンスを作って、踊った記憶がありませんね。ダンス部もかり出されてました。人数も多かったですね。

—もう応援団なくなってしまいましたよね。運動部でも、かなりの部がもうなくなってしまいましたね。

大崎 そうですか。

—文化部もそうですね。

大崎 私たちの時は1学年12クラスでした。今は8クラスくらいですかね。

—私達の時は8クラスだった：12クラスあったのですか？

大崎 はい12クラスありました。

—凄かったですね。

大崎 そうですね。ほんとたくさんいましたよね。

—それで鎌高から留学？

大崎 はい。

2年生の二学期から3年生の一学期まで一年間アメリカに留学しまして。3年の2学期に戻り、同級生と一緒に卒業しました。

—そうなんですか。

大崎 当時は英語ばかり勉強していた、他は何も勉強してな

かったです。今考えると、もっと勉強すればよかったと思うんですけど。(笑)

—いやそれは私も同じですよ。(笑) だいたい大島が見えましたからね。

大崎 ああそうですね。

—私は大島を見ながらボケッとしていましたよ。

大崎 そうですよ。ほんとそうです。(笑) 楽し過ぎて。

—それから卒業して上智大学に行かれて。

大崎 はい。

—また上智大学の中でも…、アメリカの大学に。

大崎 はい一年間、フィラデルフィア郊外の女子大に留学しました。

—それからまた凄いですよね。

大崎 大学を卒業してすぐにニューヨークのコロンビア大学の大学院に行きました。国際人権法・人道問題を専攻しました。2年間の修士課程でしたが、在学中に長男を出産したので少し休んで、3年かけて卒業しました。

—ああ大変だったでしょ。お子さん連れて。

大崎 いろいろと工夫はしました。修士課程でインターンシップをしなければならぬのです

が、同級生たちは、まさに人権侵害が起こっている紛争が終わったか終わらないかといった地域や難民キャンプに散らばっていききましたが、さすがに乳飲み子抱えて、そんな所に行くわけにはいきません。で、私の指導教官が「国連本部でいい？

近いし」みたいな感じで、国連本部ビルの中にある「人権センター」で、夏休みの三カ月間インターンをしました。その後、大学院に戻ってからも「近いから」ということで、ユニセフでインターンをしました。当時、安全保障理事会からの依頼で、国連は「武力紛争が子どもに与える影響に関する報告書」を作成していたのですが、その事務局

でした。人権とか紛争とかつて、本当にタフな問題なんですよ。

—そうですね。

大崎 私がインターンをしてしたのは1996年頃ですが、冷戦終結後に紛争の形態が変わって、子どもや女性を含む民間人が攻撃対象になっていきまし

た。旧ユーゴスラビアとか、ウガンダなどのアフリカの国々とか。少年・少女兵や殺戮や性暴力や地雷被害など、もう事例が

すさまじくつて。資料を読んでいると、2歳の息子をどうしても思い浮かべてしまって、毎日泣きながら仕事をしています。これはちよつと私には無理だと思って、上智大学の先輩が国連にいたので相談したら「じゃあ、人権じゃなくて

開発という道もあるんじゃない？」つて言われて。貧困削減を通じて紛争を予防したり、紛争が終わった後の復興を支援したりということをやっているから、そっちの方が前向きだし

いんじゃないかと言われて、ああそうかと思つて、UNDPに入りました。

—ああ、それで開発計画なんですか。

「ジェンダー」という言葉、ほとんど私知らなかったんです。それを中心にやられている感じなんですね。

大崎 そうですね。ジェンダーの概念が日本では誤解されてい

るなど感じることもあります。ジェンダーとは、「生物学的性別」、英語ではセックスといいますが、その「生物学的性別」に対して使われる概念です。生物学的性別は、生殖器官とかホルモンの違いによる男性と女性、動物で言えばオスとメスという性別です。

— ええ。

大崎 オスとメスがセットになつて初めて再生産できる、子孫を残せます。男性と女性はそのいう意味で違うし、対照的ですが、関係性としては「対等」です。それに対して、ジェンダーは「社会的性別」と訳されています。「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」という「社会規範」や「性別に基づいた役割分担」を指しています。本来は個人の選択であるべきことが性別だけを理由にして、機会や権利が制限されることがあります。また、そういった「ジェンダー」が法律とか政策とか社会のいろんなところに浸透していて、男性と女性にとつて様々な障壁になっているところがあります。その障壁を取り

除いていかないと、一人の人間として尊厳のある人生を歩むのが難しくなります。例えば、初等教育を完全普及させようという国連の目標があります。これは誰も反対しないんですよ。なので、男の子も女の子も学校に行けるようにせつせと学校を造つたりとか先生を養成したりします。でも、実際に途上国の小学校に行つてみると、高学年の教室には女の子がほとんどいません。小学校高学年から中学校にかけて女子就学率がガクンと下がります。女の子を差別しようという意図などなく、一生懸命取り組んでいるのに、結果を見ると大きな男女格差が生まれている。それがなぜか。その「なぜ」を解き明かすのがジェンダーの視点です。

— ああなるほどね。

大崎 男子児童と女子児童の「違い」に注目します。まずは身体的な違い。五、六年生になると女の子は生理が始まります。日本は機能的な生理用品があるし、そのゴミを焼却できるシステムがあります。男女別のトイレでプライバシーが守ら

れ、給水設備もあり、ちゃんと清潔を保てます。だから、女の子は学校に通い続けます。でも、そんな国の方が実は少ないんです。女の子は、一ヶ月のうち一週間学校行けない。そうすると勉強も遅れ、退学に繋がります。それから、児童婚の問題。借金の返済の代わりにとか、口減らしとか、地元の有力者への貢ぎ物みたいな感じで女の子の意思とは関係なく結婚させてしまう。そこで学業は中断してしまいます。あとは、誘拐や拉致や暴力の対象になりやすいということもあります。ナイジェリアのボコ・ハラムも学校を襲撃して女の子たちを拉致していきました：

— そうですね。

大崎 あと、ノーベル平和賞のマララちゃんも学校の帰り道でタリバンに襲撃されて：

— ありましたね。

大崎 それから、ケア労働の負担の大きいですね。家事、育児、介護、看護などの人のお世話、つまりケアに関する労働で、女性の役割とされていきます。例えば「朝ごはんを作る」

という作業。日本だと15分くらいでできます。冷蔵庫や水道やガスがあるからです。でも、途上国の農村地帯ですと、水汲みや薪集めから始まりますから、労働量も労働時間も数倍かかる。で、お母さんがあまりにも大変だと、女の子が学校に行かずに手伝います。その背景には、女の子は結婚するから別に教育はいらぬよ、という固定観念もあります。本当は教育を受けないと、妊娠出産で命を落としたり、暴力を受けたりする確率が上がってしまうのですが。

— そういう話になってくるんですね。

大崎 安全な通学路、男女別トイレ、給水設備、水道、電気など、インフラも実は重要です。私たちのイメージだと、学校さえ造ればみんな来るんじゃないかと思うんですけど、全くそんなことはないです。このように、女の子には、男の子とは全く違う障壁があるので、その一つ一つに目配りすることが大切になってきます。

— そうするとやはり開発途上国というのは、すごく難しいっ

ていうのはあるんですね。

大崎 そうですね。私は今「プラン・インターナショナル・ジャパン」という国際NGOの理事もやっているんですけど、ネパールの女子教育のプロジェクトでは、山間の集落に給水タンクを設置するんですよ。雨水を溜めて、濾過して生活用水に使えるようにする小規模インフラです。ネパールの山岳地帯では、学校行くのも遠いけど、女の子は学校に行く前に谷底まで水くみに行って、山の中腹のお家持って帰って、それでまた学校に10キロ歩くという感じなので。やはり女子就学率上げようと思うと、女の子に「来てね」って言うだけじゃなくて、まずは水くみの負担を軽減しなければなりません。

— それだけでも就学率が上がるんですね。

大崎 そうです。このように、女の子や女性が直面している障壁は何か、どんな支援が必要かを見極めていくのが私の仕事です。

— すごいですね。このインターネットを見て、先進国、日

本なんてインフラ全部揃っているじゃないですか。それなのにジェンダー平等を自慢したっていう風に書いてあるので、ええっと思っただけですね。

大崎 そうですね。

— 確かに、遅れているんだと思っていましたけどね。

大崎 日本は、とにかく、意思決定の場に女性が少ないですね。政治、行政、経済やビジネス、医療、学術研究。すべてにおいてです。その背景には、やはり、ケア労働の問題があると思います。管理職など意思決定ポジションに就くには、仕事の経験や研修機会や人的ネットワークが必要ですが、「ケア労働は女性の役割」とされている限り、男性と同じ土俵で実績を積んでいくのは難しい。やはり、ケア労働をいかに再分配するか、ですね。家庭内の男女間でバランスを取り直す、公共政策として保育園を増やすことで社会に受け皿を作っていくなどです。とはいえ、男性は長時間労働なので、担おうと思っても難しい。そうすると、「働き方改革」が必要になってきます。

あともう一つは、保育園の問題ですよ。質の高い保育園を増やさなければならぬ。でも、そのためには予算が必要です。

— そうですね。

大崎 国会の女性割合は今、1割強。残りの9割は男性で、しかも、ケア労働はやったことないし、それは女性が家庭でタダでやるものだと思います。人も多い。どうしてもそこにお金をつけるっていうのが、発想として…

— 出てこない。

大崎 はい。なので、世界中を見ていると、やはり男性も女性も働きやすくて、生きやすい社会を作っているところは、国会や行政機関や企業などの意思決定の場に女性がすごく多いんですよ。特に国会に多ければ、男性と女性と一緒に家計責任と家庭責任を担っていきけるような法律や政策や環境を作っていきますからね。ちなみに、日本の国会議員の女性比率は世界で14.2位です。

— 恥ずかしい。北欧の国って

大崎 そうですね。まあ、で

も最初からジェンダー平等が文化として存在しているというわけではありません。もともとは日本のように夫が稼ぎ手、妻が専業主婦というスタイルでした。産業革命以降の工業国は基本的にそうですね。それが一番効率的だから。

— なるほどね。

大崎 スウェーデンの場合は、60年代に好景気に沸き、労働力が足りなくなりました。それで、「女性の皆さん、働いてください！」と。それまでは女性たちは家庭や地域でケア労働を担っていました。女性たち自身が、「このケア労働は誰がやるの？」ということ、地方議会や国会に進出し、男性と女性で共に働き、共にケア労働もできるような環境を創っていったわけです。そういう積み重ねがあるのです。

— それを考えると、日本の国会は…。

大崎 そうですね、少なすぎますね。最低3割は必要だと思えます。同じ属性の人が3割いないと全体の意思決定には影響出ないっていうのが分かっています。

るので。割当制を導入している国も多くあります。議席の3割とか、政党からの候補者も最低これだけの%を割り当てようとか。比例代表制では名簿を男女半々にするとかですね。

— 比例代表もそういう風に考えるといいのかな。

大崎 小選挙区は難しいですが、比例代表だけでも、男女半々の名簿にすればそこだけはやはり50パーセントになるから。そうするとだいぶ変わりますよね。

— 今もフリーになられて、そういう事を専門的にやられているのですか？

大崎 そうですね。女性やジェンダーに関する国際的な基準や枠組みを、途上国支援にしっかりと落とし込んでいくということ、それから、東日本大震災で東北の復興支援に携わってからは日本国内の政策や制度や人材育成に関する仕事も増えました。国から地方自治体まで。あとは、大学で教えたり、グローバル人材の育成に携わったり。— そういう事をやられている方は、他にも沢山いるんです

か、日本に。

大崎 少ないかもしれませんね。だから、国から地方自治体まで、色々な所から声がかかります。国際会合にもよく出席します。

— なるほどね。こんなに忙しいと余暇なんて過ごす時間なんかないんじゃないですか？

大崎 フリーランスですから、時間の融通はきくほうです。

— ああ、そうなんですか…。体だけは気を付けないとね。

大崎 はい(笑) 早起きして、ラジオ体操しています。

— (笑)

大崎 長男も大学を卒業しますし、長女も中学三年生なのでほんと楽になりました。自分の事は自分でやりますから。

— ああそうですね。忙しい中大変でしょうけど最後にです、自分の今後の夢とかやりたい事ってなんかありますか？

大崎 「千と千尋の神隠し」の「ぜにーば」みたいなになりたいです。「ぜにーば」つてちよつと郊外と言いますかね、離れたところにお家があって、とても居心地がよくて、皆ほっこりする

るんです。私もご飯やお菓子を作るのが好きなので、子どもたちが巣立ったあとは、地域の子どもや若い人たちが集えるような子ども食堂というか、居場所を作りたいです。

— ああ。なかなかいいですね。まあ実現できると思いますけどね。

楽しみにしています。

大崎 ありがとうございます。

— 今日は、なんか大学の講義を無料で聴いたような感じですけど(笑)

大崎 いえいえ、すみません。弾丸トークで(笑)

— とんでもない。皆さんこの様な話にすごく興味あると思いますので。

大崎 また何か機会があれば是非呼んで下さい。

— そうですね。また、TVで拝見させていただきます。

大崎 恐れ入ります。

— 本日はお忙しいところどうもありがとうございます。

大崎 こちらこそありがとうございます。

— これからも、お体に気を付けて頑張ってください。

大崎 はい頑張ります。— どうもありがとうございます。

「プロフィール」

大崎 麻子

関西学院大学客員教授

上智大学卒業後、米国コロンビア大学にて国際関係修士号を取得。国連開発計画(UNDP)で、途上国でのジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進を担当し、世界各地で女子教育、雇用・起業支援、政治参加の促進、紛争・災害復興などのプロジェクトを手がけた。現在はフリーの国際協力・ジェンダー専門家として幅広く活動中。東日本大震災後は被災地の女性支援に従事した。グローバル教育や女子中高生向けのリーダーシップ研修にも取り組んでいる。内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員。サンデーモーニング(TBS系)レギュラー・コメンテーター。著書に『女の子のための幸福論 もっと輝く、明日からの生き方』(講談社)

私のお店紹介

鎌倉野菜工房

38回生 (S62年生)

山景源太

先日、同級生の佐藤(旧姓倉地)さんから、LINEが届きました。内容は「鎌高うしお会の新年会に参加したら、鎌高の潮のコーナーで卒業生でお店をしている人がいたら紹介してもらいたいと言われたのだけど、もしよければ、うしおのコーナーに載せてみない？」ということでした。

私はよく内容を聞きもせず、「OK!!」と軽はずみに返信していました。

私はてつきりうしおにお店の名前と場所くらいが載るくらいにしか思っておりませんでした。その後、うしおの担当者の方から、連絡がくると、「ざっと3000字くらいでお願いします」と言われ、「ありやー、やっちゃったー」と思いながら、まさか、自分が

『うしお』の原稿を書くことになるとは考えもしなかった：と思いつながら、あてもなく文章を書いている『現在』でございます。なので乱文乱筆失礼します。読み流してください。

私の高校、大学時代はまさにバブルの時代でありました。私もバブルの波に乗り、大学の名前だけでサラリーマンとして就職しましたが、元々、型にハマるタイプの人間でなかったため、すぐに会社を辞めて、東京の六本木で飲み屋を始めました。

私、27歳の時でした。現在は東京の西麻布に『八百長bar』、『Ya ochobar』、星条旗、南青山に『八百長3レインボー』というBARを作り、西麻布に鉄板焼き屋で『やきのすけ焼太郎』というお店をつくり、私は夜はほとんどそこにいます。

ただ、今回の「私のお店紹介」は夜の世界とは別で私の地元鎌倉に作った『鎌倉野菜工房』というお店です。また、機会があれば、東京の夜の世界も

ご紹介いたします(笑)

『鎌倉野菜工房』は地元鎌倉、湘南の素晴らしい食材を鎌倉で作る、鎌倉で売るというコンセプトを元に始めました。

私が生まれ育った鎌倉の十二所という所に小さな工房を構え(たまたま鎌倉で一番安い物件を探しておりましたら、そこになりました)、鎌倉の鶴ヶ岡会館の裏手の、最近では「裏小町通り」と呼ばれるようになっておりました。地元の鎌倉野菜をピクルスやジャムにしたり、相模湾で捕れた魚介を燻製にしたりしております。

オープン当初からテレビや雑誌で取り上げていただき、少しは名前も知っていただけのようになりましたが、今年で6年目を迎えたまだまだ未完成のお店です。私の性格がのんびりなので(未だに鎌ボケ：)ゆっくりではあります。もともと、もともと、お客様に喜ばれる店になれるように思っております。

現在は新しい商品として「し





らすさん、オリーブオイルに出
会う」シリーズを展開しており
ます。いわゆる、しらすのオ
リーブオイル漬けて「プレー
ン」、「唐辛子」、「わさび」、「味

噌」の 4 種類のパッケージをご
用意しております。
コトコト温めてアヒージョに
したり、パスタと和えたり、そ
のままお豆腐にのせて召し上
がっていただ

けるしらすを
使った新商品
です。今後は
野菜を食べる
ためのディッ
プなどを販売
してゆく予定
になっており
ます。
鎌倉、湘南
地方の良い美
味しい食材を
もっとより
多くの人に
知ってもら
えるように、
様々なことを
展開してゆき
ますので、近
くに寄った
ら、お店も是
非覗いてみて

ください。

鎌倉高校では多くの友人と先
生方に変なお世話になりました。
現在も私がお店をやってい
るということで、多くの鎌高繋
がりが生まれております。

この「鎌倉野菜工房」という
お店をつくったのもリーマン
ショックの後、東日本大震災が
あり、東京の西麻布の夜の街か
ら人がすっかりいなくなり、こ
のままでは社員を養えなくなる
と思ったのがきっかけでした
が、そんな大変な時にかけつけ
て店に来てくれたのも西麻布の
お店で知り合った鎌高の先輩で
した。

震災の翌日、世の中がどうな
るか分からないような時で、私
も店を開けることしかできな
かった時にお店と私を心配して
来てくれた山村先輩には本当に
お世話になりました。今でも、
あの日のことを思い出すと胸が
熱くなります。

この場をかりて、今でも公私
ともどもお世話になっており
ます山村先輩に御礼申し上げます

ます。

私はお店を通じて、鎌高の先
輩、後輩に偶然出会います。「鎌
高」というだけで、妙に親近感
がわき、信頼できる人のつなが
りが一瞬でできるのも、あの環
境で同じ空気を吸い、潮風の匂
いを感じたからだと思います。
いつまでも「鎌高」がそう想え
る学校であって欲しいと切に願
います。

この筆をとっている間も今週
の 2 年 2 組の初のクラス会で皆
に会えるのを楽しみにしており
ます。

最後になりますが、同級生の
新田尚君のお嫁さん募集中なの
でよろしく願います。運営
されております事務局の皆様、
本当にありがとうございます。

鎌倉野菜工房

〒108-0006

神奈川県鎌倉市小町二丁目二二七

鶴ヶ岡会館 1F 二五 A

営業時間：十一時～十九時

定休日：なし

TEL&FAX：..

〇四六七―五五―九六二八

ベルフィーユ・アンサンブル

わくわく
キッズコンサート Vol.17



2017 年 **8 月 3 日** (木) 開演：午前の部 11:00 / 午後の部 14:00 ◆ 逗子文化プラザ さざなみホール

昨夏、子どもも大人も盛り上がった新しいキッズコンサート！
 音楽クイズに指揮体験コーナーも加わり、ワクワクドキドキな一時間。
 0 歳から大人まで、気軽に音楽を楽しみにご来場下さい！



2013 年公演



ヴァイオリン
 梅津美葉
 44 回生



ヴィオラ
 安藤美佳
 41 回生



フルート
 加納敬三
 33 回生



ソプラノ
 淵岡優子
 40 回生



ピアノ
 宇治田かおる
 42 回生

ベルフィーユ・アンサンブルは、2008 年鎌倉高校創立 80 周年記念事業のチャリティーコンサートをきっかけに、鎌倉高校を卒業後演奏家として活動する有志が集まり、結成されました。鎌倉高校ならではの多彩さを生かし、作曲家、写真家、イラストレーター、アナウンサーなど他分野で活躍する卒業生とのコラボレーションも積極的に行いながらコンサートをしています。これからも様々な分野で活躍される卒業生の皆さんとの新しい出会いを楽しみに活動して行きたいと思っております！

これまでのコンサート



2016.8 - わくわくキッズコンサート Vol.6
音楽動物クイズとミニコンサート

2015.5 - わくわくキッズコンサート Vol.5
朗読「おやゆび姫」と音楽

2015.1 - 大人のためのコンサート Vol.5
北欧の風、名曲の愉しみ

2014.1 - 大人のためのコンサート Vol.4
春を聴く、音を旅する - 名曲“春”と音で巡る世界の旅

2013.5 - わくわくキッズコンサート Vol.4
朗読「ペチューニアのたからもの」と音楽

2013.1 - 大人のためのコンサート Vol.3
「星の王子様」とフランス音楽

2012.5 - わくわくキッズコンサート Vol.3
朗読「すみれおばあちゃんのひみつ」と音楽

2012.1 - 大人のためのコンサート Vol.2
写真家 糸川真木彦氏の写真「人」と音楽

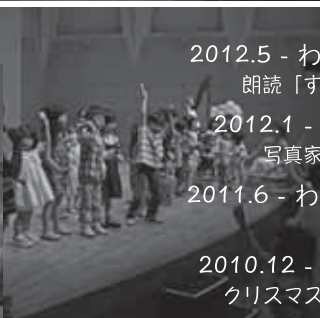
2011.6 - わくわくキッズコンサート Vol.2
朗読「かわいいことりさん」と音楽

2010.12 - 大人のためのコンサート Vol.1
クリスマス休戦「世界で一番の贈り物」と音楽

2010.6 - わくわくキッズコンサート Vol.1
朗読「ふしぎなバイオリン」と音楽

《その他の活動》

小学校での音楽鑑賞会
コンサート『祈り』シリーズ



朗読 (2010~2015 参加)
濱田典子 40 回生
元フジテレビアナウンサー



クラリネット (2015 参加)
西林亜希子 48 回生



ハープ (2010~2015 参加)
安井弘子 43 回生

編曲：久松義恭 42 回生

写真：糸川真木彦 39 回生

ロゴ：佐々木明日香 40 回生

鎌高生、OBOG の皆様
お子様お孫様大歓迎！
ご来場をお待ちしております

= ブログ =

<http://ameblo.jp/belle-feu>

= お問い合わせ =

Tel. 090-4927-6099

e-mail bee_fee_eee@aol.jp

* 入場料等についてはお問合せ下さい。

2016 年 8 月公演



在職中の鎌高の思い出

「かまくら」

「江ノ電」

「FAKERS」

10年を旅して

宮田 史彦 (元社会科)

私は高校までを故郷秋田で過ごしたのですが、今でもはっきり記憶しているのが、喫茶店風のカレー専門店「かまくら」。秋田市内の繁華街の一角にありました。当時は土曜日も半日の授業があり、ほぼ毎週、帰り道に友人と立ち寄っていました。この「かまくら」という店名、おそらく、秋田県の冬の伝統行事「かまくら」からつけられたと思うのですが、私の教員生活最後の10年間を湘南の「かまくら」高校で過ごすことができましたのは何かの「縁」なのでしょうか。

さて、鎌倉高校の10年間の

思い出を挙げるとなれば、枚挙にいとまがありません。その中から特にいくつか振り返ってみます。まずは修学旅行ですかね。私は着任早々、1年の担任を持ちましたが、翌年2年次の修学旅行。忘れもしない2008年秋のことです。鎌倉高校最後の海外修学旅行となったのですが(それまではオーストラリアでしたが、私たちの学年はグアム)、出発の5日前、私は原因不明の熱発で、高熱が続き、結局グアム行きを断念せざるを得ないことになりました。思えば1週間ほど前、帰りのカマ方(鎌倉駅行き)の「江ノ電」。隣に座っていたサラリーマン風の人が、頬を赤くし苦しいほどの咳を連発して、とても具合が悪そうでした。多分、いや間違いない、これが原因だ!と今でも私は確信しています。グアムは未知の地でしたし、ましてや鎌高での修学旅行。悔しくて悔しくてトホホです。当時、この年度で鎌高を退職される先

生(昨年度の私の立場にあたる)がパスポートをお持ちだったので私の代わりに行っていただきました。回復したのち、私とその先生に突然の引率で申し訳なかったとお伝えしたところ、逆に退職前で良い思い出になりましたと言われ、大変複雑かつ妙な気持になったことを記憶しています。(笑)

鎌倉高校はその知名度も高く、特に3、4年ほど前から、多くの外国人観光客が踏切前や鎌高周辺を訪れ、さかんに写真を撮っている風景を目の当たりにします。私は最後の6年間、生活指導を任されていたのですが、生徒が勝手に撮影され、SNS上にアップされたり、不法に敷地内に入ってくるのを防止するため、(生活指導のイメージとして、一般的には、生徒に説諭すること、厳しいことをいうことと考えられがちですが、決してそうではありませんよ。基本は生徒の安全を確保し、快適な高校生活を保障することを

目的としているのです。)昼休みや放課後などはちよくちよく見回っていました。ある冬の放課後、完全下校時刻のほんの少し前、辺りは真つ暗。その時、私は体育館にカメラを向けている30代の外国人男性を発見し、「勝手に入ってきてはいけません。門にも表示があったでしょう。(注:許可なく敷地内に入てはいけません、これは当時私が学校長を通して県に要望したように記憶しています。)すぐ出て行ってください」と実際は文にしているほど丁寧に言ったか不明ですがその旨を伝えたところ、男性は外国語で何やら返答し、右手を上着の内ポケットに入れました。私はほんの一瞬、身の危険を感じたのですが、彼がその手を出して私に見せてきたのはスマホでした。しかもその画面には日本語でこう書かれていました。「誠に申し訳ありません。」以来私は、観光客の間で、この男(私)に何か言わ

れたら、こうしてスマホの画面を見せろとSNS上で話題になつていのではないかと考えさせられているのです。(笑)

「FAKERS」…うしお会の方々ならご存知の鎌倉高校アメリカンフットボール部のチーム名です。私は10年間この部の顧問をさせていただきました。この部活は、伝統的にOBの方々がご自身の休日を返上してまで、熱心に協力してくださっています。技術面はもとより、様々な点で部員たちを面倒看ていただき、本当に感謝しております。そして、私がこの春退職するに際しても、心温まるお言葉やお気遣いいただきありがとうございました。」「FAKERS」は生徒・保護者会・後援会・OBコーチ・トレーナー・顧問が一体となった素晴らしい部活です。試合の思い出は10年間の中で、2010年秋に全国大会東地区(関東大会)に出場できたことです。ここ数年間は、なかなか勝てなかったの

ですが、この原稿を書いているまさにこの時、2017年春の県大会で強豪法政二高を倒し、関東大会出場を決めました。決勝の慶応戦は、惜しくも敗れ準優勝でしたが、部員が鎌倉の5倍もいるチームに内容的に互角ともいえる戦いぶりは立派でした。嬉しい限りです。決勝戦ではOBの方々中心にスタンド一体となった大勢での応援で、これも鎌倉高校ならではの感じました。

勉強についても触れなくてはなりませんね。私が鎌倉高校に着任した5月に鎌倉高校は県の学力向上進学重点校に指定されました。何かやらねばという決意のもと、希望者を募り、「宮田政経塾」という「松〇政経塾」をパクったかの名称で夏休みや放課後、冬休み、センター直前まで補習授業をしたのも良い思い出です。生徒諸君は意欲的に勉強してくれました。少しでも進路のアシストを、アメフトで言うならオフンスライン

として目標に向けての通り道を作れたのかなと自負しています。

秋田の冬の海は荒れ、寒々とした色の波。神奈川県に教員として勤め、最後に勤務した校舎の窓から見える暖かく穏やかで黒々とした海の色。春夏秋冬絶えず美しいシルエットの富士と、水平線の先に見える大島をほぼ毎日、10年間「江ノ電」通勤できた私は幸せ者だと実感しています。

1980年に神奈川県で教員として勤めた最初の学校は、川崎にある高校でした。私が最初に担任したクラスの女子生徒が母となり、私が定年を迎えた年に鎌倉高校で教科担当だった女子生徒はその娘でした。彼女はこの春に鎌倉高校を卒業しました。これもまたドラマのような「縁」でしょうか。また、私が教員になった頃、当時ここ鎌倉高校で私と同じ政経・倫理を教えていた今は亡き阿部先生は、私の秋田での高校の先輩、同窓生です。これもまた「縁」なの

でしょうか。

帰省するたびに、当時のカレー専門店「かまくら」の前を通る機会があるのですが、今は跡形もなく、イメージだけが鮮明に浮かんできます。

わたしにとって「かまくら」「鎌倉高校」はかけがえのない思い出となりました。この素晴らしい環境のもと過ごせた10年間に感謝しております。

そして、素晴らしい同窓生の方々の益々のご活躍を願ってやみません。



同窓会・クラス会を開催しています

1956年卒同窓会

7回生 (S31年卒)

投稿者 瀬尾 トシ子

幹事 熊谷 純

アシスタント 粕谷、松居、塚田

2016年 平成28年、我々7回生は巣立ってから60年余り、社会に出て(鎌校を卒業して)生活も落ち着いて来た頃からクラス会が始まりました。

今年ですでに40年、かつての美男美女も80歳に到達し、今では出席する方も15名程になりました。

クラス担任の鈴木先生も87歳になられました。お元気でクラス会に出席して下さいませ。先生が鎌倉にお住まいのこともあり会場は鎌倉に決めました。2時間程の会食、雑談をします。

幹事さんが二次会の会場まで決めて、全員と話が出来る様になっています。

女性は昔の名前で呼ばれアツ



2015年10月23日 鎌倉二の鳥居そば 山下飯店(地下1階)

ト云う間の4時間です。来年もまた、たなばた様の織姫と牽牛の様に元気でクラス会に参加しましょうが合口ことばになりました。鎌倉と云う土地柄、会場をおさえるのが大変だと思えますが幹事さんはガンバッテ下さいます。次回も楽しみにしています。

今年もまた、鬼籍に入られた方の報を聞かされました。2010年

伊藤真美様、菊池たえ子様

2011年

桃井教子様

2017年

佐野哲也様

ご冥福をお祈り致します

鎌高さんさん老の会開催

9回生一組 (S33年卒)

事務担当 片山 秀人

私達は今年目出度く喜寿を迎えました。

前回(平成26年7月)のクラス会のおり皆で約束し、共に喜寿を祝う集いを開きましようとして7月12日の開催となりました。会場は前回と同じ藤沢駅南の「きじま赤門」で出席者13名と、これまでになくコジンマリとしたものでしたが、女性9名男性4名で大変賑やかな催しとなりました。

卒業以来多くの年齢を重ねた



ため既に亡くなった友は13人上り、施設にお世話になっている人、遠方の人や住所の掴めない人を除くと、三人に一人以上が参加したことになりました。また、担任の恩師、金指先生は80代後半とご高齢になられ前回に続きご出席は叶いませんでした。

懐かしい面々が夫々に顔を合わせる、「元気だった? 変わらないわね」「病氣してたけど思

い切って出席してよかった」「もうひ孫がいるんだから立派なお婆ちゃんよ」とか「ゴルフまだやってんの」が飛び交い、忽ち打ち解けられるのも半世紀を越える長い絆の証です。

家族・趣味・病気の事などに、高校時代の出来事の懐かしい思い出話を交えて話題は尽きることなく、忽ち一次会の時間は過ぎました。

全員そのままカラオケ談話室へ移っての二次会となりました。

我がクラスメートで最初に弱冠22歳で旅立った赤塚親弘君（俳優・赤木圭一郎）の映画の主題歌を歌い、あたかも席を共にするような映像に彼を呼出すのです。「若かったわね」「ずいぶん可愛らしく見えるね」と、ひと時シンミリした後は、夫々の十八番の曲を、重ねた年輪の味わいを滲ませて歌いあいました。

この様な愉快なひと時を過ごせるえにしを大切に、これからも気楽に集える機会を持ち続け

ようと皆で約束をして、つごう5時間に及んだクラス会はお開きとなりました。

鎌高を卒業してからざっと60年の歳月が流れましたが、何時までも青春の想いを抱き皆元氣一杯頑張ってますよ。

昭和40年(1965)卒業 古希の会

16回生(S40年卒)

幹事代表 森川 雅光

平成28年10月22日(土) 昭和40年卒業生の古希の会を藤沢のミナパークで開催致しました。前回(還暦)より9年を経過しての開催にも拘らず沢山の同級生が参集しました。

中には海外から帰国、更に二次会からの参加者もあつて103名(二次会74名)が集まり、会場は久し振りの再会の歓声に溢れ大変楽しいひと時を共有することが出来ました。

会の最後には借用した校旗の隣で当時の応援団長の号令の下

学生時代を思い出し全員で校歌を斉唱し、次回(喜寿の会)の再会を期して散会となりました。また、うしお会から賛助金を頂き、費用の一部として有効活用致しました。

尚、参加者のクラス毎の集合写真は「うしお会」ホームページに掲載されていますのでご覧下さい。

1975年卒 同窓会

26回生(S50年卒)

幹事代表 足田 奈緒美

以前こちらでご案内させていただいた「1975鎌高同窓会」が、10月2日無事に鎌倉プリンスホテルにて開催されました。

総勢150名余りの同窓生、担任の先生方が出席し、旧交を深めながら楽しく過ごすことが出来ました。

参加してくださいました多くの1975年卒業生、鈴木先生、嶋崎先生、太田先生、本当



にありがとうございました。

さて、会場でもお伝えしました通り、クラス写真、スナップ写真等は、以下の写真アルバム掲載サイトに掲載しています。

こちらのURLに、お配りしたリストに記載してありますパスワード(合言葉)を入力することで写真を閲覧・ダウンロード

ドすることができません。
 尚、写真枚数が多いため2つのURLに分けておりますので、どちらもご確認お願いいたします。また、どうしてもこのURLから写真をダウンロードできない、という方は、各クラスの幹事に相談してください。



アルバムのタイトル：
 1975 鎌高同窓会 Vol 1
 アルバムのURL：
<http://30d.jp/daica710ys/2>
 アルバムのタイトル：
 1975 鎌高同窓会 Vol 2
 アルバムのURL：
<http://30d.jp/daica710ys/3>
 ではまた、次回同窓会が開かれることを楽しみにしています。
 1975 鎌高同窓会幹事団

1987 年卒 同窓会

23 回生 (S62 年卒)

武智 実千代
 (旧姓：小島)

2016 年 8 月 20 日 湘南クリスタルホテルにて、1987 年卒 (昭和 43 年 ~ 44 年生まれ) の学年同窓会を開催いたしました。私たち 1987 年卒生は卒業してから約 30 年が経ちますが、4 年に一度、定期的と同窓会を開催しており『オリンピッククイヤーには、鎌高同窓会！』というとても分かりやすい形で定着しています。

当日はありがたいことに恩師 5 名にお越し頂きました。そして集まった同窓生は 125 名。全国、または世界の様々な国からお集まり頂きました。

約 5ヶ月前から活動を始めた幹事会では、より皆様に楽しんで頂くべく、いつもの飲んで食べておしゃべりしての同窓会に、エンターテイメント性を加味することを試みました。同窓生によるベリーダンスショーは



参加型でもあり大いに盛り上がりました。クイズタイムでは、『うしお』誌からネタを頂戴し幹事が練り上げた難問奇問(?)に、これまた会場は大盛り上がりでした。

限られた時間の中でより多くの方と語り合えるように、会場内を自由に動いていただける工



1995年卒 ダブル成人式

46 回生 (H7 年卒)
幹事チーム 佐々木 彩子
(旧姓：宮城)

1995年(H7年) 卒で40歳を迎えた私たちは、2016年(H28年) 11月19日、11名の幹事チームメンバーを中心に「ダブル成人式」を開催しました。会場は、鎌倉市材木座のビーチサイドにある『GREEN ROOM BEACH CLUB』。

夫もしました。1次会はかつてない盛り上がりを見せ、楽しい同窓会となりました。
2次会は同じホテル内で会場を移し73名にご参加頂きました。2次会から参加の方もいらして、こちらも話しが尽きることはなく、充実した2次会となりました。

次は東京オリンピック！昭和43年〜44年に生まれた方！オリンピック鎌高同窓会をお忘れなく。また皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

3ヶ月前から、当日の進行・装飾・同級生への声かけなどの準備を、幹事チームで知恵を出し合いながら進めました。ガーランドや風船などの「ハンドメイドの装飾」は、メイン会場はもちろんのこと2階のキッズコーナーにも。さらに鎌倉高校をイメージしたこの日の「イベントロゴ」も用意しました。最終的に各クラス10〜16名、計123名の同級生が参加してくれました！

当日は、受付を済ませたひとから仲間との写真を楽しむ「フォトコーナー」へ。手作りのフォトプロップスを手に皆笑顔！メインステージでは同級生によるフルート演奏や懐かしい曲の熱唱、アルゼンチンタンゴダンス、プロミュージシャンとして活躍中の後輩の弾き語りライブなど、「盛りだくさんのプログラム」が用意され、卒業時のクラス担任だった「先生方6名のサプライズ登場」や「全員での校歌大合唱」では、懐かしさに涙ぐむ参加者もいました。

「現在の購買部の名前は？」や「当時なくて今ある部活は？」「最近取り壊された、2年のときの校舎は築何年？」など今と昔の鎌高に思いを馳せるような、クラス対抗クイズゲームでは先生方も交え、大盛り上がりでした。景品には懐かしの「ヨーグルツペ」も！

また、楽しみながら食事ができるよう準備した、複数の「ケータリングサービス」も、

大好評でした。
近況報告などもしつつその場を存分に楽しんでいく様子が「鎌高生」らしく、卒業から20年以上が経っていることを感





じさせない元気な姿に、胸が熱くなりました。私たちの絆は深い！そう感じる事ができた「ダブル成人式」でした。
この会に参加するために帰国



してくれた友人や、国内も遠くは沖縄や四国から駆けつけてくれた友人、50歳を迎えるタイミングでまた大集合しましょう。
先生方、そして同級生の皆さん、それまでぜひ皆さんらしく元氣にお過ごしてください！
(幹事チームメンバー…大熊、大内、一政、樋口、荒牧、秦、大村、白石、高橋(美)、佐藤(真)、宮城 ※女性は旧姓)

鎌倉高校S41年卒業 学年古希の会 開催案内

今年(昭和41年)卒業生(17回生)が古希を迎えます。

そこで、皆が一堂に会し、懐かしい仲間と思ひ出話しに花を咲かせ、楽しい一時を過ごしてもらおう機会を下記日時に計画しています。皆さまの多数のご参加をお待ちしています。

尚、住所不明の方が現在約60名おられます。お友達に、同窓会の連絡が来たかを聞いて頂ければ幸いです。ご住所が判明すればご案内します。

日時..

平成29年11月11日(土)

14:00 ~ 17:00

場所..

藤沢商工会館(ミナパーク)

詳細は10月頃案内状を送付致します。

各クラス幹事..

31組(河野 稔先生)

小室 昌明

32組(神川 康彦先生)

森田 豊文

33組(中島 修先生)

深澤 隆史

34組(安村 正一先生)

富田 達

35組(岡島 仁先生)

内田 進

36組(石渡 英雄先生)

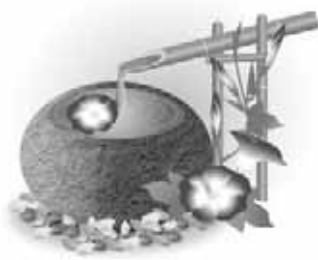
安宅 仁

37組(尾高 堯俊先生)

安藤 稔

38組(福井 進先生)

中嶋 敏男、村上 琢



蘇れ！鎌倉高校文化部活動！

26 回生 (S 50 年卒)

中村 敬

① 鎌高部活動の温故知新

私は、卒業後も数年に一度は、鎌高祭(文化祭)を見学しています。

最近では、中庭でのクラス対抗のミュージカルショーが大盛況で、見事なショーを見せてくれるので、素直に感心しています。(写真①)



鎌高祭のミュージカル (2015 年 9 月)

その鎌高祭では、必ず見に行き場所があります。それは D 棟 4 階の(旧称)地学室です。その教室には、はるか昔、年に何度も天体観測のために泊まりこみ、固い実験机の上で寝袋で仮眠したり、いろいろと喧々譁々の議論をした「地学部時代」の思い出が沢山詰っているからです。

しかし、長い間、鎌高祭は大盛況でも、その地学室は常時鍵が掛かっており、ただ静かに海風の音が響くだけの教室になっていました。

ところが、2015 年の 9 月の鎌高祭で、4 階の地学室にたどり着いた時、そこでは何十年振りかにか紛れもなく、文化部が「クラブ活動の展示」を行って来ていました。科学研究会が、製鉄の実験ショーを行う準備をしていたのです。(写真②) 私は、それが最優秀の県知事賞を取るほどの活動であること



科学同好会の実験発表 (2015 年鎌高祭)

を知ってさらに感動し、顧問の木俣先生にご挨拶したり、部員の生徒さんといろいろと(43 年ぶりに)懐かしい地学室で「クラブ活動の話」をして楽しみました。(写真③)

その出会いが今回の寄稿のきっかけです。(たたら製鉄と科学研究会の優秀な活動の詳細は、2016 年度の「うしお」35 号に木俣先生が掲載されておられますのでご覧ください。)

② 鎌高の部活動の現状

その後も部活動の現状が気になり、2016 年の 9 月には、卒業生総会にも初めて顔を出してみました。懐かしい方々にお会いできたものの、文化部系の卒業生の方は、あまり参画されておられないようでした。

しかし、そんな中でも、一年次下だった元写真部の石橋さんにお会いして、約 40 年前の話をしてみると、部活動の予算割り当て会議でお互いに苦労したやりとりなどを、双方とも昨日のように覚えており、やはり感受



左-1975年 右-2015年 鎌高地学室にて

表① 県立鎌倉高校 運動部・文化部の42年間の推移

	1974年度	2016年度	1974年度	2016年度
	運 動 部		文 化 部	
1	野球部	サッカー部	生物部	科学同好会
2	卓球部	野球部	地学部	吹奏楽部
3	バレーボール部	体操部	書道部	室内楽部
4	柔道部	弓道部	映画研究部	軽音楽部
5	バドミントン同好会	アメリカンフットボール部	合唱部	茶道部
6	ダンス部	バドミントン部	写真部	美術部
7	テニス	陸上競技部	音楽鑑賞部	KBS(放送)
8	サッカー部	剣道部	新聞部	合唱同好会
9	陸上競技部	バレーボール部(*)	物理化学部	
10	軟庭同好会	硬式テニス部(*)	広報委員会	
11	水泳部	ハンドボール部(*)	プラスバンド部	
12	弓道部	バスケットボール部(*)	英語部	
13	剣道部	ダンス部	美術部	
14	バスケット部	スキー山岳部	地歴部	
15	体操部	卓球部	茶道同好会	
16	ソフトボール部	水泳部	文学部	
17		ソフトボール部	演劇部	

(*) 男子と女子を合算

性の強い時代の部活動体験は一生忘れないものなのだなど、あらためて認識しました。
現在の状況を、表①に42年前との単純比較でまとめました。

生徒数や生活環境が大きく異なる中で、単純比較はあまり意味がないかもしれませんが、運動部の数と種類はほとんど変わらないものの、文化部は数が半減



1974年度の文化部集合写真

し、その分野や種類となると音楽系を除き激減しています。
昔は文化部だけでも、卒業アルバムの見開き両ページにまたがって一杯にいろいろな部の集合写真が掲載されていました。(写真④) 私の身近なところでは、地学部以外にも、生物部や写真部、物理化学部や地歴部などが、普段から活発に活動し、秋の鎌高祭や4月上旬の新人勧誘などもお互いに頑張っていた記憶があります。

もしかすると、現在は同好会的なレベルの文化部活動は結構活発にやっているのかもしれないし、今はインターネット等を通じて、学外で新しい形態の活動の輪が広がっているのかもしれない。それらも貴重な経験でしょう。
しかし、やはり高校の学内でのきちんとした正規の部活動の体験は、ちよつと一段違う人生の原体験になる気がします。

3部活動経験は 社会活動の原体験か

私は1972年4月に鎌高に入学しました。世の中にまだ「アポロの月着陸」の偉業の余韻が残る中で、年に何度も学校に泊り込んで、夜明けまで天体観測するといった、科学的かつ神秘的な地学部の活動内容に大変魅かれていました。(当時は男女部員とも、保護者の承諾書1通で顧問の先生と学校に泊られました。)高2の後半に部長になりました。いろいろと「責任者」として組

織の活動を管理するといった行動の「原体験」を積みました。もちろんそれは、社会での体験とは全然「質」も「量」も違いますが、今から思えば、基礎の中の基礎レベルでの、最初の組織活動体験をしていました。

こういう体験自体は、今でも現実には、その生徒の人生の大事なプロフィールの一部の印象をより強く形成することがあると思います。

さらにもっと重要な事は、やはり人生で感受性が一番強い数年間に、どういう分野の部活動に傾注したかが、その生徒の人生の進路を分けるほどの影響を与えることが多くあることだと思います。

例えば、理科系や文科系、芸術系、マスコミ系などの人生の進路選択時に、所属した部活動体験から（無意識にも）本当はかなり影響を受けている場合が結構あると思います。

私もその一人でした。私は高校時代、もう典型的な「天文少年」で、大学もそういう分野を

目指しました。得意の「地学」は、全国模試でもトップレベルの成績でしたが、それ以外の科目にはあまり熱が入らずに、結局は私大法学部に進み、就職は大手の損保会社（今の損害保険ジャパン日本興亜）に入社しました。典型的な文系型企業の社員での社会人スタートです。

しかし、入社して36年経った今振り返ると、入社当時の数年間以外は、文系的な損保会社のイメージらしい仕事は結局ほとんどやらず、国際的にも先進的なシステム開発の研究に長年のめりこんだり、今は経団連へ出向して、日本企業の自然保護活動のとりまとめや推進役をつとめるなど、ほぼいつも好きな理系的な仕事中心で36年間を過ごしました。

システム開発では職務発明で、国内・海外で10件以上も特許を取得しましたが、私が法学部出身とわかると、周囲からは大変不思議そうな表情で見られても、「高校時代は「天文部」部長でした」と明かすと、皆さ

んすぐに納得され、そういう仕事に長く従事しました。会社が文科系中心仕事なのに、こうした理科系仕事に何十年も没頭した意志の源は、やはり、一番多感な年頃に過ごした高校の部活動で、無意識にも自分の脳に埋め込まれた「自己の専門意識」だったと思います。

4 湘南・茅ヶ崎北稜高校では文化部活動が活況？

全国統計的にはむしろこの10年間で、高校文化部活動に参加する生徒数は、運動部より増加傾向との統計がいくつか発表されています。全国の県立高校を無作為に十数校検索してみました。やはり運動部、文化部ともに15個前後あるところが多いように見受けられました。

実際に近辺の県立高校でも、その高校のホームページを見る限りは、表②のとおり、むしろ文化部の方が運動部より数も多いか、同じぐらいです。

私には、何故？ 鎌高が、今の状況になったのか、良くわか

りませんし、公開されていない理由や、うまく工夫された仕組みがあるのかもしれない。もちろん現在の教職員の方々や、保護者の方々も、きつと色々とかかなりご尽力をされていることは間違いなく、その大変なご苦労に水を差すような気持ちは全くありません。

ただ素朴に、毎年毎年、沢山の現役鎌高生が、一度しかない高校生活で、「部活動を経験したくても、部がなかった」という残念な思いを抱いて卒業していくことが、もしあるとするならば、「我々卒業生も、何かお手伝いできることはないのか」を提起したたく寄稿した次第です。

5 部活動の外部指導員、

4月から文科省が制度化

この寄稿記事の原稿を書いていた3月中旬に、文科省から興味深い発表がなされました。本年4月から、中学校と高校の部活動の外部指導員を、学校職員として位置づけ、教員がいなく

表② 湘南高校、茅ヶ崎北稜高校の部活動

<県立湘南高校のホームページから：2017年3月時点>

■運動部■

- 1. 山岳部 2. バスケットボール部 3. サッカー部
- 4. バレーボール部 5. 硬式野球部 6. テニス部
- 7. ソフトテニス部 8. 卓球部 9. バドミントン部
- 10. ラグビー部 11. 陸上競技部 12. 柔道部 13. 体操部
- 14. 水泳部 15. フェンシング部 16. 剣道部
- 17. ハンドボール部 18. 弓道部

■文化部■

- 1. 歴史研究部 2. 地理研究部 3. 数学研究部
- 4. 化学研究部 5. 生物研究部 6. 英語研究部 7. 文芸部
- 8. 新聞部 9. 写真部 10. 演劇部 11. 合唱部
- 12. 音楽研究部 13. 気象部 14. 放送部 15. 園芸部
- 16. 鉄道研究部 17. 家庭部 18. 映画研究部 19. 漫画研究部
- 20. 囲碁将棋部 21. 物理情報通信部 22. 吹奏楽部
- 23. 絃楽部 24. 美術部 25. 茶道部 26. ジャグリング部

<県立茅ヶ崎北稜高校のホームページから：2017年3月時点>

■運動部■

- 1. 野球部 2. ソフトテニス部 3. 剣道部 4. 卓球部
- 5. 女子バレーボール部 6. 男女バスケットボール部 7. 水泳部
- 8. サッカー部 9. 男女ハンドボール部 10. 陸上競技部
- 11. ワンダーフォーゲル部 12. ダンス部 13. バドミントン部
- 14. 男女テニス部 15. 応援委員会

■文化系の部■

- 1. 写真部 2. 天文部 3. 吹奏楽部 4. 美術部 5. 物理部
- 6. コーラス部 7. JRC部 8. 広報委員会 9. 茶道部
- 10. 演劇部 11. 華道部 12. 軽音楽部 13. 漫画研究部
- 14. 棋道部 15. 放送委員会

でも単独で指導や大会への引率を
行えるように学校教育法の施行
規則を改める省令を出したと
いうものです。

これは主に運動部系の部活動
の顧問業務を中心とした教職員
の方々の負荷を下げるための特例
措置ですが、(まだ良く仕組み
がわかっていませんが)文化部
活動でも、場合によっては、卒

業生などが活動を直接支援でき
る方法があるのではないかと思
います。多忙な企業生活や、子
育てを終えた頃の卒業生世代な
ら、たまになら平日でも支援可
能な時間的な余裕が出ている人
もあるでしょうし、複数OBに
てローテーションで2月に1回
程度交代で支援するとか、こう
いう公的な新制度をうまく活用

できるような仕組みが近く創案
されていくのではと期待してい
ます。

まだ整理すべき問題は大変多
いと思いますが、やがて本当に
卒業生も部活動への直接支援可
能な仕組みが構築された時に
は、一人でも多くの卒業生の方
が、可能な範囲でお力添えを
いただけることを願っていま
す。もちろん私も努力を継続
し、今後もさらに具体的な仕
組みを調査・検討して行きたい
と思いますので、よろしくお願
いします。

私はお陰様で鎌高での楽しい
部活動と、それが直接、間接に
源となつて、これまでの充実し
た数十年の社会人生活を送らせ
ていただきました。だから、一
人でも多くの現役の鎌高生の皆
さんが、「部活動の思い出は、
私の大事な宝物です」という思
いを胸にいだいて、自信を持っ
て卒業して行って欲しいと、私
は本当にそれを願っています。

長文をお読みいただきありが
とうございました。

鎌高祭スタッフ大募集

7月1日①、2日②

今年度の鎌高祭に同窓会で
教室をお借りして、鎌高の歴
史を中心に色々な物を展示し
在校生、保護者、卒業生はも
ちろん、一般の方々にも、よ
り鎌高を知っていただくこと
企画しております。

つきましては、多くの卒業
生に参画していただきたいと
思っています。企画から前日
の準備に片づけ、2日間の受
け付けや説明等には、少なく
ても20人以上のスタッフが必
要かと思えます。ぜひ、友人
を誘っていただき、数多くの
方々のご協力をお願いします。
全日参加できなくても当日だ
け、1日だけでも結構です、
相談しながらやっていきたい
と思っております。ぜひ参加を
考えてください。

スタッフの方々にとっても、
きっと楽しい鎌高祭になると
思います。また、こんなもの
を持っているので展示して欲
しいというものがあつたらら
び展示させていただきます
と思っております。

連絡先、同窓会事務所ま
たは、同窓会役員の渡辺晃
090(1422)5765まで

カナダからの手紙

17回生 (S41年卒)

本間 幹人

何故 Canada に来たか、という質問をよくされます。希望に燃えて！とかなんとか書くべきなんだろうが、実際は親父の広告会社を継ぐのが嫌で（というか自分がやったら潰してしまいたい）で従業員に申し訳ないと思っ（）、8年以上働いた後、こちらに逃げて来ました。親父の所で総務、営業、デザインそして経理と学ばされ一応一生懸命働きましたのです。

高校卒業後は上智の有機化学科、修士課程は有機光化学 Photo-Organic-Chemistry (今思いださうとするとナニを一体研究してたんだろう？です。周期表ですら今ではろくに覚えとらん!!) を専攻し、途中一年休学して Ohio 州の Muskingham College に留学 (遊学ではありません、まじガチガチの青びょうたん学生でし

た、念のため)、その研究室で働かせてもらいながら勉強：その時の北アメリカの生活があったので気楽にこちらに移住したのかな？

33歳で移住した時はこちらの経理士になるつもりで UBC (University Of British Columbia) の経理学校にいましたが、資格を取る前にこの Sushi Village を始めたので途中下車。

Whistler, B. C. で日本食を32年前に始めたのですが (Whistler で6軒目の Restaurant として Open、今はそれが約100軒に増えました)、単純に Ski が出来て食っていければいいや、という事でマア、いい加減というか馬鹿な怖いもの知らずでしたね。それがここまで大きな Resort になるとは…北アメリカ一番とはね。

Open 後は2回潰れそうになり、首吊りの話しも出たくらい

で、それをなんとかかわした後も浮き沈み激しく、やっとここ5、6年落ち着いて儲かるようになり、ホットできるようになりました。

ちようどその楽になり始めの頃 FAX で宗野から連絡があり (うちの Server 達は、FAX なんて使う人未だ居るの？と感心してました。よ。) 勅使河原と一緒に Whistler に来てくれまして、その時の写真を付けます。来てくれた時は Mountain Bike, BBQ, Hiking その他なにやらたくさんやっても



Skiing on Powder Mountain 2011



On Whistler Mountain with Muneno and Teshi
宗野、勅使河原と2014

りました。って言うか無理やりやらせた？楽しんでくれたんだと思いたい。

という訳で Ski がしたくて Whistler に来たのでその写真見て「なんだ、そっか」 Wind Surfing, Fishing, Tennis, Mountain Bike で楽しみ最近では Kite Surfing (写真あり) にドップリはまってしまうので、Baja, Mexico の La Ventana に家を買っ (とても安全な田舎町)、そこに4、6週間ここ最近ですけど年に2回行くようにしています。



Kite Boarding in Baja, Mexico 2014



Salmon Fishing Roger's camp 2011

でもアト何年元気にSports
できるのか、とても心配な今日
この頃です、70歳だもんな。腰
が痛うて。こういう話題は同
世代どうし通じますよ。この
冬は3回しか腰痛のお陰で滑れ
なかった、1シーズン100日
近く滑ったときもあるのに。
でもその頃はSSの後ちゃん
と店の掃除からなから元気に
毎日仕事してましたぜ。
11月には同窓会があるとい
うお話で行きたいけど... 他にも
写真送ってますので、下手に出
席するよりそっちを見てもらっ
たほうが注目されるかな？

Canada に来て見たい人
Whistler, Canada に寄ってから
Baja California, Mexico にも行っ
てみたい方は連絡下さい。お迎
えご案内しますよ。

うしお会では皆様の同窓会を応援します

参加者100名を超えると思
われる学年同窓会、または部活
動OB・OG会の開催につ
きましては、応援金として20,
000円、50名から100名の
場合は10,000円を寄付致
します。

幹事の方は、予め開催する
旨、日時会場などをうしお会
ホームページに掲載申し込み
てください。

尚、開催報告として数枚の写
真とコメントを後日お送りくだ
さい。ホームページまたは会報
誌「うしお」に掲載させていた
だくことをご了承ください。

お申込み
うしお会ホームページから
メールフォームでお申し込み
ください。

受取方法
開催日前日までに幹事さんが
来校していただきます。
※また、名簿、会場(うしお会
会員が経営する店舗)なども

ご案内することが可能ですの
で、ご相談ください。

うしお会地方開催

昨年の会報「うしお」の発行
部数は、約17,000部でし
た。と言うことは、うしおの会
員が全国に約17,000名い
ると言うことです。

当然の事ですが、年々会員は
増えていきます。この中には、
地方で生活をされている会員の
方が多くおられます。同じ鎌高
卒業生として、その地域でうし
お会を育てて頂くこともできる
のではないのでしょうか。うしお
会事務局は、各地域での開催を
応援いたします。同窓会開催計
画を事務局に連絡頂き、打合せ
後、事務局にて案内を送りいた
します。個人情報に十分な注意
をした対応をさせていただきます。
先ずはご相談を。

吉本芸人「ねたのおにいさん」

53 回生 (H14 年卒)

野々垣 濯太

N .. どうもみなさんこんにちは。吉本芸人「ねたのおにいさん」の野々垣です

S .. 相手の斉藤です

N .. 僕が 2002 年鎌高卒というので今回載せていただくわけですが

S .. 良かったじゃないですか

N .. 特にこれといった思い入れはなく

S .. ころころ！一つくらいはあるでしょうよ

N .. 三年間気の合う友達はずきずき

S .. まあまあ

N .. 女子と青春することもなく

S .. まあ：

N .. 勉強部活バイトに励むわけでもなく

S .. ……

N .. 急いで帰ってスーパーファミコン

N .. 学校はできる限り休み、朝の教育テレビを楽しむ

N .. 欲はなく



コンビ写真 (右:野々垣濯太 左:斉藤真嗣)

N .. いつも静かに笑ってる

S .. とんだ宮沢賢治だな！

N .. だから何を話したらいいのかわからないんですよ

S .. そもそもなんで鎌高を選んだの？

N .. ジャージがカッコよかった

S .. え？そんだけ！?

N .. ほかお前カマジャのかわよ？どこもみんな一色の戦後みたいなジャージに対しカマジャは紅白のツ

トンカラー！

S .. ダセーじゃねーか！

N .. どうもありがとうございませした

S .. はやいやいやい、まだジャージの話しかしてないから

S .. 芸人になった理由は？

N .. 仕事を通じて毎日違う体験や出会いが待っているから

S .. 確かに

N .. 別にネタがやりたいわけじゃないんですよ

S .. 「ねたのおにいさん」なのに？

N .. 歌のお兄さんだつてレコード大賞目指してないだろ、体操のお兄さんだつてオリピック目指してないだろ「みんなと一緒に楽しめる歌や体操やネタを提供するお兄さん」てことなんですよ

S .. なるほどね

N .. だから都内の舞台や全国放送でなく、地域のイベントやローカル番組でその地の人たちと一緒にあって楽しむことを大事にしているんだね。そして僕らと会ったことで、この先の人生役立つ

つことがあればいいなって。

S .. というのは？

N .. 「高齢者向けの防犯ハウツーコント」や「子供が本を好きになるような読書の楽しみ方」とか警察や企業と一緒にやったり、「伝えるべきこと、みんなが知るべきこと」を笑いで乗せて心に留まりやすくするのが僕らのお仕事なんだね。

S .. なるほど

N .. その中の一つ、みんながいつもで楽しめる番組が「ねたのおにいさん」の鎌倉市郵便番号の旅

S .. お、急に CM か？

N .. 鎌倉市内の郵便区分 44 地区をくじ引き順で周りその地の魅力や特色、歴史を紹介する超ローカル社会科番組！

S .. 次回第 25 回は、確か高野だったよね？

N .. そう、生まれも育ちも鎌倉の僕でも何があるかさっぱりわからない、歴史も本を読むだけじゃ覚えられない。そこで各地をくまなく回って見て知ること、より鎌



鎌倉44地区をピースにした「かまくらばずる」

倉を好きになつたり、自分の地区を誇りに思うようになるだろうなつて。
 J・・・com鎌倉、FM鎌倉、タウンニュース鎌倉、facebook、youtubeの五つの媒体で放送中！過去のものもいつでも見れるからチェックしてみてね！
 S・・・あとは何といつても「かまくらばずる」でしょ？
 N・・・そう！そんな44地区をピースにしたパズルが番組から生まれて、2017年から市内小学校の社会の教材になつたんだよ。
 遊んでいるうちに場所はお



教育委員会と

ちろん、形や大きさまで覚えてしまふ優れものさ！電話とネットショップで販売していて、ふるさと納税返礼品にもなつていているから興味ある方はぜひ！
 S・・・じゃあそんな感じで！ねたのおにいさんを初めて知つた方は応援よろしくね！最後になにかありませんか？
 N・・・現役の鎌高生たちとも一緒に何かしてみたいので学校の偉い人！これを見てたらよろしくな！
 S・・・最後失礼！どうもありがとうございました！

〈プロフィール〉

レギュラー

J・・・com 神奈川

「タなび」

J・・・com 鎌倉

「みんなのひろば」

鎌倉FM

「シーサイドステーション」

隔週水曜

鎌倉FM

「シーサイドカフェ」

第5火曜日

レディオ湘南

「らぶ&music」

F M湘南ナパサ

「グッドタイムスアフタヌーン」

斉藤のみ

F M湘南ナパサ

「グッドタイムスサンセット」

斉藤のみ

タウンニュース鎌倉

「ねたのおにいさんが行く！」

月一掲載

〈問い合わせ〉

http:

//kamakurashitsu.com/

090-21156-7169

野々垣

会報誌「うしお」
編集者からのお願い

年に一度発行しています
 会報誌「うしお」の戻りが約500部あります。これは事務局に登録されている住所が古い事に起因しています。また、住所が事務局に登録されていない為、会報誌「うしお」自体が届いていないケースもあります。

ここで、うしお会の皆様
 にお願ひがあります。鎌高のクラス会や同窓会等に出席された時、一度会報誌「うしお」が届いているかを出席されている方々に確認して下さい。

もし届いていない方がお
 りましたら氏名、郵便番号、住所を書いてもらい、それを同窓会「うしお会」事務局までファックスを送って下さい。

皆さんのご協力をお願い致します。

第27回日本詩人クラブ新人賞受賞

24回生 (S48年卒)

草野 早苗

光学機器

メーカーに勤務の傍ら、詩作をしており



まず草野早苗です。2012年

に第一詩集「キルギスの帽子」、

2016年に第二詩集「夜の聖堂」(いずれも思潮社刊)を刊

行いたしました。2017年

4月に第27回日本詩人クラブ新人賞を受賞いたしました。日本

詩人クラブは、1949年に創立、翌年西條八十が第一代会長

となつて詩の交流を目的に活動を開始した一般社団法人です。活動の一環として毎年、日

本詩人クラブ賞、日本詩人クラ

ブ新人賞、日本詩人クラブ詩界賞(評論)の選考および贈呈を行

つています。本年度は、第50

回日本詩人クラブ賞に岡隆夫氏

『馬あ出せい』、第27回日本詩人



賞の贈呈

聖堂』、第17回日本詩人クラブ詩界賞に亀井俊介氏『日本近代詩の成立』、日本詩人クラブ詩界賞特別賞に清水茂氏『私の出会った詩人たち』が受賞決定され、4月8日に都内で贈呈式が開催されました。

詩を初めて意識したのは、鎌倉高校時代に詩人ライネル・マリア・リルケの「早春」という一篇の詩を読んだ時です。見知らぬ遠い土地の早春の情景が、文字から三次元世界となつて目の前に現れ、心に早春の大きが降りてきました。そして、20歳代半ばになつて初めて読んだ西脇順三郎の詩集「Ambarv



花束贈呈

a l i a」。誰の詩とも違う、湿り気のない表現に衝撃を受け、刺激されて詩を書き始めました。

最近、よく思い出すのが、高校の学舎から坂道を下り、帰宅するために江ノ電の鎌倉高校前の駅のホームから夕暮れの海を眺め、作家になりたいと学友に将来の夢を話していたことです。小説ではなくて、文字で写真を撮り心までも現像する詩という世界に足を踏み出しましたが、不思議と、駅のホームから見た七里ヶ浜の海の光景が自分の原点であると心の中で確認しています。

とはいえ、現実は厳しく、通勤の電車の中で携帯電話から自宅のパソコンに詩を書いて送り、深夜帰宅してから読み返すという日々です。そんな中で、

高校時代からずっと見守ってくれている複数の友人がいて、優しい励ましの言葉は、夜に誰かが手渡してくれた灯りのように思えます。灯りをいつまでも消えない詩という光に変えて、歩いてゆけたらと思つています。

プロフィール

草野 早苗

1954年生まれ

1973年

神奈川県立

鎌倉高校 普通科卒業

1975年

神奈川県立

外語短期大学英語科卒業

2017年現在

株式会社ニコインステック

産業機器第2営業本部

海外営業部勤務

日本現代詩人会会員

『鎌高卒、優れたアーティスト』

絵画 井上茉莉子
彫金 井上菜恵子

51回生 (H12年卒)
井上 茉莉子

美術大学との出会い

私が美術大学という存在を知ったのは高校生になってからと遅く、同学年に美術予備校に通っていて両親も芸術家の友人がいて、双子の妹と一緒に予備校の講習会に参加したのがきっかけになり、美術を専門的に学ぶ大学があると知りました。

高校二年生から鎌倉にある予備校に通うことにしたので、備校に通うことにはしたのですが、恥ずかしい話、将来何をしたいのか漠然としか考えていなかった私は、受験科もどこにしようか決めることが出来ず、「描写が一番上手くなれるよ」と講師に言われ、なんとなく日本画科に進む事を決めたのを憶えています。

高校三年の受験は全く実力が伴わず一次落ちでした。美術大

学は浪人するのが当たり前と自分で思い込んでいたのもあって、どこか集中していなかったように思います。

大学受験をしつかり意識したしたのは一浪の時です。

高校生の私は不器用なのに少し褒められるだけで満足し、努力を怠っていたので、作品が上達するのが周囲の受験生より遅く、一浪になり次第に周りから置いていかれるようになりました。

芸大受験に必要な石膏デッサンも着彩も空回りをし、どうしたら良いのか分からず講師の指導も理解することが出来ず、受験を意識すればするほど上手くいかない自分が嫌になっていきました。

芸大の一次合格発表はもちろん不合格でした。

自分の不甲斐なさに悔しくて泣いたことを憶えています。

二浪になり一浪の時の悔しさを二度と味わいたくないと心に誓い本当の意味で受験生になった私は嫌なことは全て良いように考え直してポジティブに生活するようになりました。

誰よりも早く予備校へ行き、しっかりと準備をしてから制作に取り組みました。

デッサンも基礎から学び直しました。

ダメなこともうまくいかにいことも今の自分には必要な事なんだと割り切ると自然とリラククスが出来て良い緊張感を保ちながら入試シーズンを迎えることが出来たように思えます。

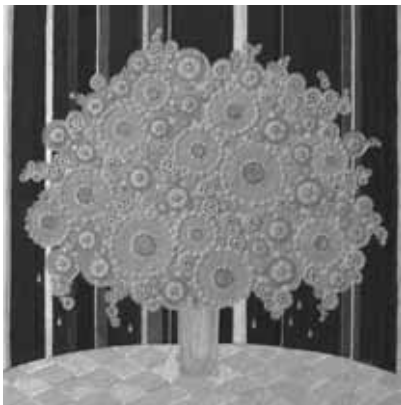
作品も自分の中で少しずつ納得がいくものが描けるようになってきた頃東京藝

大の入試を受け、日本画科にギリギリのレベルではあったとは思いますが合格することが出来ました。

東京藝術大学

入試までは透明水彩絵具を使用していましたが、大学からは岩絵具で絵を描いていくことになりました。

岩絵具は天然石を砕いて粒子



花束 ～静かな時間～

制作年：2016年

素材：雲肌麻紙 岩絵具 金泥 銀泥

サイズ：180mm × 180mm

を細かくする事で絵具として使用していくのですが、近年天然石の代わりにガラスに着色した物を砕いた新岩絵具という絵具も多数あり、色数も豊富で非常に美しい画材です。

絵具屋さんに行くのと棚に並んでいる岩絵具の入った瓶は美しく、光に当たるとキラキラと輝く岩絵具は宝石を見ているようでした。

大きな画面に馴れない岩絵具を使用して描いていくことは大変ではありましたが、水彩絵具では味わえなかった岩絵具独特の質感は魅力的で楽しいものでした。

しかし大学に入ってから不器用な私は岩絵具の使い方に長い間苦労をしてしまうのでした。

大学では作品制作の他、スケッチ旅行など様々な体験もできます。

古美術研究旅行では普段では入ることの出来ない場所にも特別に入れていただいたり、絵具工場を見学させていただいたり

と、貴重な体験を沢山することができました。

4年と修士1年の時は授業とは別に人物のモデルさんをお願いしてもらい週に一度クロッキーの勉強をすることもできました。

大学4年間と修士2年間芸大にお世話になりましたが、今でも懐かしく、また大学生に戻りたいと思ってしまうくらい楽しい、先生にも友人にも制作環境にも恵まれた6年間でした。

新聞小説

大学院の時に研究室で素描展を行なったことがきっかけで出版社の編集者の方と知り合う機会に巡り会いました。

新聞に掲載される小説の挿画は当時、その出版社からの提供は無かったようで、初めて挿画と小説と一緒に新聞社に提供するという試みで若手の作家を探しているとの事でした。

大学院の時は毎日のようにクロッキーやドローイングを好んで描いていましたが、小説

を読んで話に沿った挿画を描くという事は初めての経験でした。

小説は時代小説で当時の時代背景を調べながら作画をしていくのですが、実際に住んでいた家やご本人の顔、昔の着物の柄や小物、家具に至るまで、間違いないように描くことはピリピリとした緊張感がありました。

一度着物の帯の種類を違えて描いてしまった時は新聞社に投書が来てしまう失態も犯してしまい、他の新聞社用は新たに描き直しもしました。

しかし新聞数社に掲載されている自分の挿画を見るとなんととも言えない達成感があり、充実した日々を送ることが出来たのを憶えています。

その後も現代小説などを担当させていただいたりしましたが、今描いている絵のスタイルは新聞小説の挿画がきっかけになっていることが大きいと感じ



大きな木 ~夜の訪れ~

制作年: 2015年

素材: 雲肌麻紙 岩絵具 金箔 金泥 銀泥

サイズ: 140mm x 180mm

延内スケッチ

新聞小説の挿画をやり始めた頃、裁判所の中で法廷内を描く延内スケッチをやらせていただくことになりました。

延内スケッチは直ぐにニュースに使われることが多いため1枚15分程度で描き上げるスピード勝負になります。

何が起るのか分からない法廷内の状況をいかに伝えるか、臨場感を大切に描きます。

ています。

廷内スケッチ独自のルールもあるのですが、それらを守りながらスケッチをしていかなければなりません。

法廷内はいつでも凜とした独特な空気感に包まれていますし、席に座って描いている間はいつも失敗が出来ない緊張感で手にすごい汗をかきながらスケッチをしています。

腕時計で何度も時間を確認し時間通りにスケッチを終えられるか、短時間でも報道で伝わる絵が描けたのか確認して急いで法廷から出てます。

その後着彩の仕上げをし、裁判所で待機していただいているカメラマンさんに撮影をしていただきます。

ニュースで使用されているのをテレビで確認出来るかと少し安心しますが、ほとんどが反省です。

日本画制作

新聞小説の挿画をきっかけに自分の絵画のスタイルが出来る

ようになってきた今、見る人が和んでくれて近くに置いておきたいと思ってもらえる作品を作りたいと思うようになりました。

私の絵は主に花の静物や木がある風景、丘の風景などを描いたものが多いのですが、いつも描くときに下書きはせずに直感で筆を走らせていきます。

直感が頼りなので冴えない時は何時間も手が止まったまま途方にくれる事もあります。頭の中のイメージがしっかりと画面に伝わる時は楽しくて夢中になりながら制作をしています。

岩絵具は同じ色の中でも岩を砕いた粗さで色味が変わります。

粗い絵具は色が原石の色に近く濃く、細かい絵具は粉っぽいので色が白がかります。

岩の種類にもよりますが、粗い絵具はキラキラと輝く物も多くザラザラとした質感の画面になりやすく、細かい絵具は輝きは弱くマットな質感になりやすい特徴があります。

粗い絵具で描写することは難しく、細かい絵具は描写しやすくなります。

岩絵具はそれぞれの色で重さが違うのですが、重い絵具はその粗さも比較的筆から降りやすいので描写向きのようなです。

単色で使用したり粗さの違いを塗った上に細かい絵具を薄く塗ってみたり：。

色味や質感を大切にしつつ描写をしていくことは中々難しい絵具ですが、組み合わせで描いていくとなんとも言えない美しい画面が出来上がってきます。

岩絵具と同じように愛用しているのが金泥、金箔、銀泥です。

金泥は絵皿に焼き付けという作業をして輝きを出してから使用します。

岩絵具と全く違う質感の金属を使うことで絵にシャープさ

を与えることが出来ます。

金属の光り輝く質感も日本画の魅力のひとつだと感じています。

今は主にデパートで展示をさせていただいています。

作品は想いを込めて描いたものほど、愛着が大きくなりますが、そういった作品は自分の手から離れて貰われていくことも多く、とても有り難いことなのですが少し寂しさが残ります。

しかしお客様に「家に飾って見ていると幸せになれそうだから」とおっしゃっていたいたり、「作品を毎日眺めています」



月の光

制作年：2016年

素材 雲肌麻紙：岩絵具 金箔 金泥 銀泥
サイズ：180mm×180mm

とお手紙をいただけたりするこ
ともあり、その言葉が嬉しく
て、次の制作のやる気に繋がっ
ているような気がしています。
これからも気持ちを込めて
絵を描いていきたいと思っ
ています。

最後に

今回うしおへの文章掲載のお
話は鎌倉高校の先輩でもあり、
在学中芸大でお世話になった日
本画科教授の関先生からいた
きました。

お話をいただいた時は何を書
こうか迷いました
が、このお話をい
ただいたことがきつ
かに妹も私自身も懐
かしい学生時代を
色々と振り返ること
が出来たように思
います。
このご縁をいただ
けたことに感謝し
ています。ありがとう
ございました。



ある日の丘
制作年：2016年
素材：雲肌麻紙 岩絵具 金泥 銀泥
サイズ：180mm×180mm

井上茉莉子 プロフィール

- 1981年 神奈川県生まれ
- 2000年 神奈川県立鎌倉高校 卒業
- 2006年 東京芸術大学美術学部 卒業
- 2008年 日本画専攻 卒業
- 東京芸術大学大学院美術研究科 修士課程絵画専攻 修士

主な展覧会

- 2004年 日本画六人展 (日本橋小津和紙ギャラリー)
- 2006年 素描展 (東京芸術大学陳列館)

2007年

素描展 (思索の中で)
(東京芸術大学陳列館)

2009年

個展
(埼玉/GALLERY EL・POETA)

2011年

真臚展 一日々
(香川/高松三越)

2012年

真臚展 (香川/高松三越)
マイ・ファースト・アート
(東京/銀座三越)

2013年

女展 (東京/みんなのギャラリー)

2015年

井上茉莉子・井上菜恵子二人展
ーフワフワフタゴテンー
(東京/銀座三越)

2016年

GIFT in BLOOM Vol.12
(東京/銀座三越)

主な受賞歴

- 2010年 第7回・第8回・第9回 三菱商事アート・ゲート・プログラム入選
- 2011年 第11回 三菱商事アート・ゲート・プログラム入選

2012年

株式会社NHKアート社長賞
奨励賞

挿画

2007年 新聞連載小説 鳥越 碧
「花筏」
(福島民報社 東奥日報社 山形新聞社)

2009年 新聞連載小説 山川健一
「ここがロドスだ、ここで跳べ!」
(宮崎日日新聞社 信濃毎日新聞社 茨城新聞社 北国新聞社 函館新聞社 大分合同新聞社 岐阜新聞社 長崎新聞社 佐賀新聞社)

2010年 書籍 山川健一
「ここがロドスだ、ここで跳べ!」
(アマーバックス新社、幻冬社)

2014年 新聞連載小説 辻仁成
「愛犬ゼルダの旅立ち」
(テリー東北新聞 南信州新聞 下野新聞 東愛知新聞 徳島新聞 宮崎日日新聞 山梨日日新聞 岐阜新聞夕刊 山形新聞 函館新聞 苫小牧新聞 秋北新聞)

51回生 (H12年卒)

井上 菜恵子

思い返せば、私は幼い頃から絵を描くことが好きでした。

中学校3年の頃、美術の先生に「美大に行きたい」となんとなく、この言葉を口にしたことを覚えています。

それから、鎌倉高校に入学し、美大を目指すきっかけになることが2つありました。1つ目は1年生のクラスで、美術予備校に通っている子と友達になったことです。そして私は、友人の通う予備校に見学に行き、その雰囲気を楽しそうだったことと、自分の力がどのくらい通用するのかわかりたくになりました。2つ目は鎌倉高校でお世話になった美術の先生が東京芸大の卒業生だったことです。先生から聞く芸大のお話は、とても魅力的でした。もともと勉強が得意でなかった私は、自分の得意とする美術を専門に学べる大学に進学したいと考えるようになり、美術予備校に通い、芸大を目指すことにしました。

そこから長く続く受験生活の始まりでした。芸大受験を甘く見ていた私は、制作の楽しさや作品への変なこだわりや無駄なプライドを重視して、受験に必要な試験時間の対策や志望する大学の専攻に合格するために必要な内容に全く重点を置いていませんでした。今思うと、なんてのんびりした受験生だろうと呆れてしまいます。

鎌倉にあった予備校で4年間、その後新宿の予備校に移り、半年勉強をしました。新宿の大手予備校でたくさん受験生に囲まれたことで、のんびり屋の私はやっと目が覚め、受験に対して真剣に取り組んだように思えます。お世話になった講師の方にも大変感謝しています。こうして4浪もして、やっと東京芸術大学美術学部工芸科に合格することができました。

大学では、彫金という分野を専門に勉強をしました。平らな金属板を金槌で叩く、鑿(たがね)で彫る、糸鋸で切る、加工や接合といった行程を全て手作

業で行い、様々な色の金属板を使いこなしながら、作品を作り上げることに、私は魅力を感じました。また、卓上で作業できることも、私にとって魅力的でした。中でも色金(銅合金や金合金などで、日本独自の技法からあみだされたもの)や象嵌(金属の表面に他の金属を嵌(は)める、流し込むといった技法で、平象嵌(ひらぞうがん)や切り嵌(ば)め象嵌などがある)の世界に興味を持ち、それらを主に研究をしました。

しかし、学部時代は作品の方向性がまだ定まらず立体作品やレリーフ作品など、いろいろな技法を使用し制作しました。自宅では鑄金技法を使って制作をすることで、型にはまらない自由なスタイルで作品を制作しました。

大学院、美術研究科彫金専攻に進学し、引き続き彫金を学んでいくのですが、金属の色だけでは物足りなくな

り、七宝焼を作品に取り入れようと考えるようになり、そこから七宝焼と金属を合わせた作品の研究をすることになりました。七宝焼とは、金属板にガラスの粉を焼き付ける技法で、その仕上がりは宝石のように美しいものです。

七宝焼は、素材そのものが美しいために、その技法さえ学んでしまうと誰でも美しいものが作れてしまうという難題がありました。それは、作家が独自の方向性を確立しなければ、その他大勢の人が作る作品群に埋もれてしまうということなのです。私は、これらの技法の研究だけでなく、自分の表現したい



宇宙の声

世界観を一層深めていくことにも重点を置いて制作しようと考え、絵も描くようにしました。描いた絵を元にして、どのように素材を生かし、そしてどのような技法が必要なのかを考え制作に励みました。現在の作品スタイルは、この頃に出来上がったように思います。

卒業後は、東京芸術大学の共通工房棟で教育研究助手、非常勤講師として6年間、学生に七宝焼きを指導する立場になりました。卒業したばかりで未熟な私は、学生に指導する中で自分に足りないものを痛感し、自分が学生だったとき以上に技法や作品の研究に力を入れるようになりました。芸大で学ぶ学生達は、意識がとても高く、私にはうかうかしているという焦りもありません。また、そのような学生達に教えるためには、自分の能力も上げなければ対応できません。朝から晩まで指導と

制作とで七宝や金属に囲まれる生活を続けました。芸大には、藝大釉というオリジナルの七宝釉薬があり、大学内で原料を配合して坩堝（るつぼ）で溶解し、制作しているのですが、教員になることで、この釉薬を作る工程を学べたことはとても貴重な体験でした。原料の鉛などの粉がドロドロに溶けて混ざり合いガラスになっていき、真っ赤に溶けたガラスを水の中に汲み上げる瞬間の緊張感とともに、素材そのものの力強さや美しさを見ることができたのは大きな経験になりました。



アポロの花

最後に、私の作品と作家としての活動について少しだけ触れ

ようと思います。

私は、大学在学中に三菱商事アートゲートプログラム奨学生として選ばれた。そして奨学金をいただくにあたり、年に数回の活動報告と三菱商事が主催するアートゲートプログラムのチャリティオークションに作品を出品する義務がありました。ここでは、自分の作品をどのようにプレゼンするべきかを学び、そして数年間に渡り出品したオークションで、自分の作品に価格が付けられるという貴重な経験をすることができました。そして、自分が納得するまでこだわって制作した作品は、良い縁に恵まれて高値で落札していただきました。ここでの作品発表を与えたように思います。

現在は、主にデパートやギャラリーで作品を展示させていただいています。卒業後、すぐに展示のお話をいただき、それは



音のない街

現在まで続いています。とてもありがたいことです。作品は主に七宝と彫金技法を組み合わせたレリーフ作品と、鋳物と七宝を組み合わせた立体作品を制作しています。

私の作品には、「猫」が存在するものが多いです。「猫」の作品を作る作家といわれることもあるくらいです。大学院の卒業制作から現在の作品に至るまで、大切な愛猫を登場させたものが多く存在します。自分の大切な存在が作品の中に登場すると、その作品に対する愛情のよくなるものがあふれ、制作に熱が入ります。もっと愛おしく、可愛らしく、美しく、観てくれる

人が笑顔になるように、と気持ちがいちがこもります。日々、一緒に過ごす猫たちにたくさんのアイデアと幸せをもらいながら、自分の好きな世界観を大切に制作しています。そして長い時間かけて制作したものが完成した瞬間は大きな達成感が得られます。私は、この感覚を味わう為に制作を続けているように思います。

「作品は自分の子供」とよく言いますが、作り上げたものは自分の側に置いておきたいという感覚になります。ある方に「手放したくないと思う作品を発表しなさい」と言われましたが、確かにその通りで、自分が気に入っている作品ほど、観てくれる人に共感してもらい、自分の手から離れてお嫁に行きませぬ。嬉しい気持ちと寂しい気持ちの両面があります。けれど、それは作品を作って良かったと思う瞬間でもあります。しかし、作品制作はとてども孤独なものでもあります。自分自身と向き合い、自分の内面を見つめる

時間が長いからです。制作することが辛いと思うこともあります。自分のペースで好きな作品を制作することが続けられるように、今後も頑張っていこうと思っっています。

井上 菜恵子 プロフィール

1981年
神奈川県生まれ
2000年

神奈川県立鎌倉高校 卒業
2008年

東京藝術大学美術学部

工芸科 卒業



歌声が聞こえる

2010年

東京藝術大学大学院美術研究科
彫金専攻 卒業

2010〜2013年

東京芸術大学共通工房金工工房
金属表面処理室 教育研究助手

2013〜2016年

東京芸術大学共通工房金工工房
金属表面処理室 非常勤講師

主な受賞歴

2009年

三菱商事アート・ゲート・プロ
グラム奨学生

安宅賞受賞 (東京藝術大学)

神奈川県美術展工芸部門 特選

2010年

東京医科歯科大学奨励賞受賞
(修了制作・東京藝術大学)

原田賞受賞

(修了制作・東京藝術大学)

主な展示

日本橋三越本店、銀座三越、高松三越、伊勢丹新宿本店本館、大丸福岡天神店、船橋西武、所沢西武、西武池袋本店、筑波西武、神戸そごう、スパイラルガーデン、軽井沢ニューアートミュージアム、新生堂
art space morgenrot
北京奥加美術館 (中国北京)
BJU ART キャンプリー (韓国ソウル)

イラスト制作

2016年、2017年

「ハッピーイースター
たまご遊びコンテスト」
(イセ文化財団主催)

ホームページ

Naekoinoue.jindo.com

個展

2013年

井上菜恵子展 〈星空のうた〉
(銀座三越)

職員人事異動

○大変お世話になりました。

❖ 退任者

大坪 直子 先生 (国語)

❖ 離任者

石川 雅之 先生

(副校長・国語)
大師高校(再任用)へ

田中和也 先生

(教頭・国語)
磯子工業高校(定)へ

宮田 史彦 先生

(社会)
柏陽高校(再任用)へ

花田 ひろみ 先生

(国語)
大船高校(再任用)へ

村岡 小綾子 先生

(音楽)
城郷高校へ

梅宮 佑喜 先生

(英語)
上鶴間高校へ

菅沼 利行 先生

(数学)
小田原城北工業高校(定)へ

高橋 志多 先生

(英語)
瀬谷西高校へ

大崎 義貴 先生

(情報)
横浜清陵高校へ

今村 裕二 さん

(事務)
横浜国際高校へ

大原 正昭 さん

(技能員)
横浜立野高校へ

○よろしくおながいします。

❖ 転入者

齋藤 和宏 先生

(副校長・工業電気)
商工高校より

峰 治 先生

(教頭・社会)
百合丘高校より

森田 亨 先生

(国語)
逗子高校より

岡本 祐子 先生

(国語)
鶴沼高校より

横溝 浩正 先生

(社会)
横浜栄高校より

大島 英夫 先生

(社会)
茅ヶ崎北陵高校より

棚橋 美咲 先生

(理科)
寒川高校より

青木 由美子 先生

(音楽)
追浜高校より

鈴木 康晴 先生

(英語)
二宮高校より

北見 明 先生

(英語)
逗葉高校より

服部 誠 さん

(事務)
小田原城北工業高校より

林 信之 さん

(技能員)
湘南高校より

❖ 新採用

畠山 未帆 先生

(国語)
木幡 琴未 先生

(数学)

部活動報告

●● 運動部 ●●

■ アメリカンフットボール部

私たちアメリカンフットボール部は、公立高校初の神奈川県大会優勝を目指しています。チームでは「挨拶・時間厳守・清掃」を大切にしています。保護者やOBの方々に、そして学校への感謝の気持ちを忘れず、感動を届けるフットボールの体現を目指し精進し続けます

■ 男子硬式テニス部

男子硬式テニス部の活動日は月、火、木、土です。平日は16:00から2時間半、土曜日は4時間と時間を決めて集中して練習を行っています。時には顧問の先生、コーチからアドバイスを頂き練習、試合やOB会などで様々な刺激を受けながら、日々切磋琢磨しています。これからも皆様から応援される様なチームになれるように努力していきます。

■ 女子硬式テニス部

私たち野球部は、週末の練習試合を通じて選手一人ひとりが問題や課題を見つけ、自主的に演習メニュー考えて平日の練習に取り組んでおります。昨年の初戦敗退という悔しい結果を受け、挨拶、グランド整備、用具管理など野球における基礎・基本から見つめ直し活動をしてきました。まずは初戦突破できるように日々の練習に励んで参ります。

ています。周囲の環境にも恵まれていたことを自覚し、去年より良い成績が取れるよう、また悔いが残らぬよう県大会に向けて努力していきたいと思います。

■**剣道部**

私たち剣道部は、男子はシールド権獲得、女子は関東大会出場を目標に、格技場にて活動しています。基本を大切に、日々の稽古とチームワークで高校から剣道を始めたという部員も多く活躍しているのが私たち剣道部の特徴です。また、剣道の礼儀を生かし、日頃から挨拶の徹底や清掃活動にも力を入れていきます。今年も部員団結し、一丸となって戦います。応援よろしくお願ひします。

■**卓球部**

卓球部は、リニューアルされた体育館2階の専用卓球場を

使い、県大会で上位に進出することを目指して、日々練習に励んでいます。3年生部員が1名という危機的な状況もありましたが、卒業生のコーチの方のご協力もあり、現在は部員も増え、ようやく軌道に乗り始めたところです。部員の自主性を尊重し、強く、楽しく、礼儀正しい卓球部を今後も守り続けて行きたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。

■**水泳部**

水泳部は現在3年生9人、2年生13人の計22人で夏は水中、冬は陸上を中心に活動しています。お互いに教え合ひ、高め合ひながら切磋琢磨して練習に励んでいます。昨年度は関東大会に出場し、湘南地区大会では、男子総合3位を獲得しました。本年度も日々の練習を大切に、1人ひとりがそれぞれの目標に向かつて頑張ります。楽しく

活動していききたいと思ひています。応援よろしくお願ひします。

■**弓道部**

弓道部は現在3年生22人、2年生15人の計37人で活動しています。昨年度は練習の成果をなかなか結果に結びつけることができませんでした。4月には新人部員も加わり、限られた日々の練習時間の中で各自目標を持ち、試合で良い結果を残せるように、部員一同頑張つて活動していききたいと思つていきます。

■**サッカー部**

こんにちは、鎌倉高校サッカー部です。現在、部員数70名を越え、全員が一つの目標に向かつて練習に取り組んでいます。そして、歴史に名を残すべくさらなる進化を求め僕たちは進んでいます。支えてくださつた皆さんへの感謝

<p>学校法人 北鎌倉学園 おおぞら幼稚園 理事長 山田 誠一 (昭和39年卒) 〒247-0056 鎌倉市大船5-10-35 TEL: 0467-46-2932 FAX: 0467-46-2948 E-mail: info@ohzora.ed.jp http://ohzora.ed.jp</p>	<p>ミマツ音響株式会社 代表取締役会長 山本 泰弘 (昭和30年卒) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-7-3 TEL: 03-3253-6483 FAX: 03-3253-9080</p>
<p>有限会社 東昭産業 代表 松中 芳治 (昭和40年卒) 〒248-0006 鎌倉市小町1-3-5 TEL: 0467-22-1908 FAX: 0467-25-3411</p>	<p>株式会社 ミルスぺース 代表取締役 田中 正明 (昭和36年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢973番地 相模プラザ第3ビル6階 TEL: 0466-23-3012 FAX: 0466-26-6509</p>
<p>株式会社 ワイエスシー 代表取締役 小泉 稔 (昭和40年卒) 〒220-6213 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC13F TEL: 045-227-5711 FAX: 045-227-5747</p>	<p>江島神社 宮司 相原 園彦 (昭和39年卒) 〒251-0032 藤沢市片瀬4-14-21 TEL & FAX: 0466-22-4324</p>

を忘れずに、最後まで戦いた
いと思います。声援よろしく
お願いします。

■男子バレーボール部

こんにちは！男子バレー
ボール部です。私たちは、選
手が3年生8人、2年生5
人、マネージャーが3年生3
人、2年生1人で活動してい
ます。顧問の先生方、コー
チに様々なサポートを受け、
日々切磋琢磨し、充実した活
動を行っています。応援よろ
しくお願いします！

■女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は
3年生5人、2年生8人（マ
ネージャー1人）の計13人と
新入生を迎えて、週に5日か
ら6日活動しています。県大
会出場を目指して、日々バ
レーボールに励んでいます。
他のチームに比べて経験者が
少ない分、足りない技量を

チームワークでカバーできる
様に努力していきますので、
応援よろしくお願いします。

■男子ハンドボール部

平成28年度の男子ハンドボー
ル部は、夏の湘南地区大会で
は3位、冬の湘南地区大会で
も3位という結果を収めまし
た。今年度は3人の顧問の先
生と3人のコーチのもと、40
名の部員で活動しています。
県ベスト16入りを目標に、
チーム一丸となって努力して
います。私たちを支えてくだ
さるOBの方や保護者の方へ
の感謝の気持ちを忘れず、こ
れからも頑張っていけます。
応援よろしくお願いします。

■女子ハンドボール部

私たち女子ハンドボール部
はプレーヤー21人、マネー
ジャー4人の計25人で活動し
ています。経験者はほばいま
せんが、周りの方々に支えら

れ日々ハンドボールを楽しむ
ことができていると思います。これか
ら県ベスト16という目標に
全員で向かって行きたいと思
います。精一杯頑張りますの
で応援よろしくお願いいたし
ます。

■男子バスケットボール部

3年生11人、2年生7人の計
18名と新入生を迎え、活動し
ています。県大会ベスト16を
目指し、「臥薪嘗胆」のスロー
ガンの下で週に6日活動して
います。昨年度は県大会出場
の機会を逃しましたが、3年
生の集大成となる高校総体予
選ではこれまでの練習と悔し
さをバネに、チーム一丸と
なって練習に取り組んでいき
たいと思います。応援よろし
くお願いいたします。

■女子バスケットボール部

新生女バスとなり数ヶ月。更
に新たな風、1年生を6人迎

<p>鎌倉 山田屋 岡本 治男 (昭和41年卒) 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下3-8-29 TEL: 0467-22-0338 FAX: 0467-24-8497 MAIL: mail@kamakura-yamadaya.jp</p>	<p>株式会社 ウエルカム 代表取締役 増田 隆之 (昭和40年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢559 角岩松ビル TEL: 0466-25-3005 FAX: 0466-25-3006</p>
<p>株式会社 齋藤商店 代表取締役 齋藤 光久 (昭和42年卒) 〒251-0037 藤沢市鶴沼海岸3-1-7 TEL: 0466-36-3188 FAX: 0466-33-3380</p>	<p>株式会社 林塗装店 代表取締役 林 澄雄 (昭和40年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢576 TEL: 0466-27-1761 TEL: 0466-22-3043</p>
<p>株式会社 イシイフーズ 代表取締役 石井 英樹 (昭和43年卒) 〒251-0047 藤沢市辻堂1-8-29 TEL & FAX: 0466-34-7072</p>	<p>総合建設 大沢組 代表 大沢 廣和 (昭和41年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢3-2-14 TEL: 0466-22-2225 FAX: 0466-22-3119</p>

えて12人となりました。県大会出場常連校となるべく意識を持ち、日々努力しています。「力戦奮闘」と掲げた部旗もできました。「女バスターいいね!」のモットーと文武両道の精神はずっと、ずっと貫き続けます。

■陸上競技部

陸上部は、一人ひとりが自分たちの記録を更新するために、目標を持って一生懸命練習しています。昨年、男女とも鎌倉市駅伝に出場し、女子は優勝しました。また、湘南大会において入賞をし、賞状をいくつか貰うことが出来ました。来年度は、個人種目でも団体種目でも、県大会に出場できるように頑張りたいと思います。

■体操部

体操部は、3年6人、2年4人、1年2人の計12人で活動

しています。とても活気があり、先輩後輩関係なくアドバイスをしあつて日々精進しています。よくOB、OGの方々が来てくださり、楽しく部活をしています。今年もそれぞれの目標に向かって頑張っています。

■バドミントン部

私たちは、男女計40人で、互いに競い合いながら日々活動しています。昨年は女子は団体でベスト8、男子は県大会出場を果たしました。今年度は男女ともに団地で県ベスト16、個人戦では県大会出場を目標に頑張ります。ここまではバドミントン部が代々結果を残すことができるのは、チーム一丸となって練習に取り組んでいるのは勿論、コーチをはじめOB・OGの方が部活に来てくれたり、顧問の先生、保護者の支えがあつてこそだと思っています。バドミントンができる環境を作つて

くれている全ての方に感謝をして、今年もチーム一同目標を達成できるように頑張ります。

■スキー山岳部

スキー山岳部は、基本的に平日は週4日活動しています。主に、海岸を走る、筋力トレーニングをするなど登山に必要な体力づくりを行っています。およそ月に1回、丹沢で登山をします。昨年の夏合宿では奥多摩の雲取山に行きました。現在、部員が1名なので、顧問の先生と協力し、新入部員の獲得を目指して積極的に勧誘活動に取り組んで行きたいと思っています。

■ソフトボール部

私たちソフトボール部は15名で活動しています。湘南地区大会では準優勝、県大会ではベスト32という悔しい結果を残しました。今年は県大会へ

<p>鈴木運輸株式会社 代表取締役 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-13-33 TEL: 0466-34-1118 FAX: 0466-34-1119 E-mail: katutaka@szki-ex.co.jp http://www.szki-ex.co.jp</p>	<p>フライスター株式会社 代表取締役 関 全男 (昭和44年卒) 〒222-0033 横浜市港北区新横3-6-1 TEL: 045-470-0330 FAX: 045-474-3768 http://www.frystar.co.jp</p>
<p>株式会社 小池 造園 代表取締役 小池 一彦 (昭和45年卒) 〒251-0004 藤沢市藤が岡2-9-5 TEL: 0466-22-5550 FAX: 0466-24-4295 E-mail: kazz1951@kz-koike.ecnet.jp</p>	<p>株式会社 湘南薬品 代表取締役 曾我 壽裕 (昭和44年卒) 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上2-1-17 TEL: 0466-26-3336 FAX: 0466-26-6723</p>
<p>渡辺啓二税理士事務所 税理士 渡辺 啓二 (昭和46年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸3-19-20 TEL: 0466-21-8150 FAX: 0466-21-8151</p>	<p>ダスキン メリーメイド藤沢南店 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-12-33 フリーダイヤル: 0120-460-770 http://www.shonanfujisawa.com/~mm.fujisawaminami/</p>

スト8を目標に、一人一人課題を持って日々練習に励んでいます。恵まれた練習環境支えてくださっている多くの方々に感謝し、目標達成に向けて頑張りますので、応援よろしくお願いします。

● ● ● 文化部 ● ● ●

■茶道部

今年度は1年生が女子5名、男子2名も入部してくれました。茶道部はさらに活動の幅が広がりそうです。部員が大勢いることで、自分では気付かなかった注意点を互いに指摘することが出来るので、高め合えます。さまざまなお茶会にも参加させていたいただきました。今年度からは文化祭なので、部員一同皆様のお越しをお待ちしています。部員たちで更に稽古を積み、茶道部を盛り上げて行きたいです。

■glee(合唱)部

同好会から部活動に昇格し、3年目を迎えます。昨年は室内楽部とともに、高齢者施設での訪問演奏では大歓迎を受け、温かい応援を頂きました。今年度は、新入生歓迎会に始まり、文化祭に向けて活動していきたいです。歌が好きな仲間が一人でも増える場として、活動を頑張ります。

■吹奏楽部

昨年度は、県南吹奏楽コンクールにて銀賞を受賞しました。アンサンブル県南支部大会では、木管五重奏が金賞、フルート五重奏が銀賞を受賞、打楽器五重奏、サクソス六重奏がフェスティバル部門に出場しました。また、腰越みなとまつりや、テレビア病院訪問演奏、義経まつりでの演奏など、地域に根ざした活動も積極的に行っています。今年度は、コンクールで上部大会への出場、また三月開

催予定の定期演奏会の成功を目標に精進していきます!! どうぞ、応援よろしくお願いします!

■室内楽部

私たち室内楽部は3年生3名、2年生4名の計7名で活動しています。日々の練習の成果として、文化祭などの学校行事でミニコンサート開いたり、福祉施設を訪問して演奏を開いたりしています。現在はヴァイオリン3名、ヴィオラ2名、チェロ1名、ホルン1名で演奏をしています。新1年生を多く迎え、様々な場で演奏する機会を増やしたいと思っています。

■ダンス部

ダンス部は現在41名で活動しています。昨年度はチャアダンスや県新人コンクール、青少年ダンス発表会への参加などを中心に活動してきました。

<p>しらすと地魚料理・旅館 かきや(腰越電車通り) 代表取締役 戸倉 孝二 (昭和50年卒) 〒248-0033 鎌倉市腰越3-7-24 http://ishonan.com/kakiya TEL: 0467-32-4828 FAX: 0467-32-4180</p>	<p>税理士法人 み つ ば 代表取締役 榊原 雄児 (昭和47年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢山下町115番地 エフ・ティービル藤沢6F TEL: 0466-27-0208 FAX: 0466-25-9082</p>
<p>株式会社 水落建設 代表取締役 水落 雄一 (昭和51年卒) 〒251-0015 藤沢市川名801 TEL: 0466-26-1601 FAX: 0466-23-6019</p>	<p>有限会社 成勢商店 代表取締役 成勢 啓一 (昭和48年卒) 〒252-0816 藤沢市遠藤2480 TEL: 0466-87-0021 TEL: 0466-87-0023</p>
<p>有限会社 ワールドタバコ たちばな 代表取締役 叢 秀樹 (昭和51年卒) 〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-3 ダイヤモンドビル内 TEL & FAX: 0466-22-2373</p>	<p>陣や寺子屋 指導者 奥蘭 千栄子 (昭和48年卒) 〒247-0074 鎌倉市城廻352-2 TEL & FAX: 0467-43-0619</p>

た。県新人コンクールでは、
 テーマパークの清掃員をモ
 チーフにした作品を発表し、
 74チーム中14位の成績を取
 りました。今年度もより一層
 いい作品を作れるよう頑張っ
 ていきますので、応援よろし
 くお願いします。

■軽音楽部(日歌会)

日歌会は近年、校内での活動
 に加え、他校との合同ライブ
 を多数行うなど活動が活発に
 なりました。部活動へ昇格し
 たことにより大会へ参加出来
 るようになり、部員の意識も
 大きく向上してきました。今
 後は校内だけに留まらず、よ
 り多方面へと活動の幅を広げ
 て行きたいと思っています。

■美術部

私たちは昨年、恒例の「鈴木
 病院文化祭」での展示をはじ
 め、個人でポスターに応募し
 たりと積極的に活動していま

す。また、今年の鎌高の文化
 祭でも作品展示や、ゲート作
 製などに取り組んでいきたい
 と思っています。兼部してい
 る人が多く、皆忙しい中で活
 動したい時に自由に活動して
 います。今までよりパワー
 アップした美術部をお見せし
 たいと思います。

■KBS部

お昼休みの放送をはじめ、校
 内の放送活動をしています。
 昨年は、合唱コンクールや体
 育祭のアナウンスなど行事を
 支えました。今年も、放送の
 大会の為に放送技術の向上を
 目指し、また文化祭やカマス
 ポなどの行事で鎌高生に楽し
 んでもらえる様に、縁の下の
 力持ちとして良い放送が出来
 るよう力を注いでいきたいと
 思います。

●●同好会●●

■科学研究会

古代製鉄法「たたら製鉄」の
 研究を続けて7年目となり、
 私たちは鎌倉の砂鉄による製
 鉄法の確立という大きな成果
 に到達することができました。
 今年度は、生成した鉄を
 モノとして形に残すことや、
 他地方の砂鉄で、私たちの製
 法が通用するかといった研究
 を続けていこうと思っています。
 そして、新たな研究とし
 て昨今問題となっているマイ
 クロプラスチックにも研究の
 幅を広げていきたいと思っ
 ています。

■演劇同好会

演劇同好会は、平成27年夏に
 発足した鎌倉高校で今最も新
 しい同好会です。県主催の演
 劇ワークショップに参加した
 り、後夜祭で殺陣を発表した
 り、中学校を訪問して警察の
 方と非行防止教室を行ったり

<p>日本精麦株式会社 代表取締役 田中 重光 (昭和61年卒) 〒253-0114 高座郡寒川町田端1590-5 TEL: 0467-72-3620 FAX: 0467-74-2002</p>	<p>株式会社 湘南セールスプロモーション 櫻井 淳 青野 久美 (昭和55年卒) 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-8-10-101 TEL: 0466-25-1035 http://shonansp.com</p>
<p>市島徹社会保険労務士事務所 代表 市島 徹 (昭和62年卒) 〒220-0023 横浜市西区平沼1-1-3 合人社高島橋ビル4F TEL: 045-534-3001 http://www.ichijima-labor.com/</p>	<p>司法書士法人・行政書士事務所 湘南リーガルオフィス 司法書士・行政書士 石田 宏治 (昭和58年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢1027番地2 TEL: 0466-27-7505</p>
<p>株式会社 重田 工芸 代表取締役 重田 博章 (平成元年卒) 〒252-0816 藤沢市遠藤298-6 TEL: 0466-88-6880 http://www.shigeta-kougei.com</p>	<p>有限会社 国分屋 代表取締役 飯田 圭太 (昭和60年卒) 〒252-0816 藤沢市遠藤728番地の7 TEL: 0466-87-8832 http://www.kokubuya.com</p>

平成29(2017)年度 大学別合格者数

(注) 合は合計数 現は現役生の数です。

大 学 名	合 現	
	合	現
東京造形大	7	7
東京電機大	7	6
東京都市大	28	20
東京農大	10	9
東京理大	8	5
東邦大	1	1
東洋英和女学大	3	2
東洋大	20	14
日赤看護大	0	0
国際基督教大	1	1
日本獣医生命大	0	0
日本女子大	4	3
日本体育大	1	1
日本大	65	54
武蔵野美大	3	3
文教大	2	2
法政大	60	47
北里大	19	17
麻布大	7	7
明治学院大	44	41
明治大	50	42
武蔵大	1	0
明星大	1	1
立教大	34	27
立正大	2	2
昭和薬科大	2	1
順天堂大	1	1
私立大学合計	694	571
文部省所管外		
防衛大学校	2	0
公立短期大学		
私立短期大学		
大妻女子大短大部	1	1
その他		
専門学校	8	7
北京外国語大学	1	1

大 学 名	合 現	
	合	現
神田外語大	4	4
名古屋外国語大	1	0
玉川大	8	7
文化学園大学	1	1
駒澤大	16	11
慶応大	6	6
工学院大	3	3
国学院大	11	7
国際医療福祉大	0	0
国士舘大	0	0
共立女子大	2	2
桜美林大	0	0
産業能率大	0	0
実践女子大	1	1
芝浦工大	16	12
昭和女子大	3	3
昭和 大	2	1
湘南工科大	0	0
上智大	16	15
神奈川工科大	3	3
神奈川大	17	13
成城大	15	12
成蹊大	12	11
創価大	1	1
青山学院大	28	25
専修大	8	7
早稲田大	15	15
多摩美大	4	3
大妻女子大	2	2
大東文化大	2	0
立命館大	1	1
立命館アジア太平洋大	5	5
中央大	41	28
帝京大	5	5
帝京平成大	0	0
東海大	11	8
東京医療保健大	3	3
東京慈恵会医科大	1	1
東京工科大	2	2
東京薬科大	2	2

大 学 名	合 現	
	合	現
国立大学		
北海道大	2	1
東北大	1	1
筑波大	1	1
埼玉大	2	1
茨城大	1	0
電気通信大	2	2
東京学芸大	2	1
東京海洋大	1	0
東京外大	3	3
東京芸大	1	0
横浜国立大	6	4
山梨大	1	1
弘前大	1	0
広島大	1	0
富山大	1	1
金沢大	1	1
信州大	1	1
岐阜大	1	1
静岡大	1	0
熊本大	1	1
鹿児島大	1	1
国立大学合計	32	21
公立大学		
高崎経済大	2	1
首都大東京	8	7
横浜市立大	5	4
神奈川県立保福大	2	2
公立大学合計	17	14
私立大学		
フェリス女大	7	7
杏林大	3	3
横浜薬大	10	8
福岡大	1	0
学習院女子大	1	1
学習院大	18	14
鎌倉女子大	3	2
関東学院大	2	2

※ このデータは平成29年3月31日締めのもので、今後変動する場合があります。

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 b - a
繰越金	2,155,762	2,155,762	0
68回入会金	1,370,000	1,380,000	10,000
利 息	500	11	▲ 489
協 賛 金	3,500,000	4,062,310	562,310
寄 付	100,000	160,000	60,000
合 計	7,126,262	7,758,083	631,821

* 協賛金のうち広告費 (310,000 円)

* 収入 - 支出 = 平成 29 (2017) 年度へ繰越
7,758,083 - 6,607,359 = 1,150,724

* 繰越金内訳 横浜銀行 1,147,854
ゆうちょ銀行 2,870

* 寄付金内訳 1. 昭和 50 年卒同窓会
2. S45 卒 金澤 明氏

〈特別会計 (周年行事積立金)〉

繰越金	1,380,905
積立金	200,000
寄 付	
利 息	12
合 計	1,580,917

(平成 29 年度へ繰り越し)

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 b - a
会 議 費	0	0	0
会 報 費	3,200,000	3,143,642	▲ 56,358
通 信 費	300,000	286,196	▲ 13,804
部活動補助	300,000	110,000	▲ 190,000
卒業記念品	200,000	213,114	13,114
設備整備費	0	88,618	88,618
交 通 費	50,000	0	▲ 50,000
事 業 費	200,000	80,000	▲ 120,000
部室等補修費	2,500,000	2,454,722	▲ 45,278
雑 費	30,000	31,067	1,067
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予 備 費	146,262	0	▲ 146,262
合 計	7,126,262	6,607,359	▲ 518,903

会計監査の結果、
上記の通りであることをご報告します。

会計監査 富田 達

平成
28
年度
決算
報告

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰越金	1,150,724	2,155,762	▲ 1,005,038
入会金	1,600,000	1,370,000	230,000
利 息	500	500	0
協 賛 金	3,500,000	3,500,000	0
寄 付	100,000	100,000	0
合 計	6,351,224	7,126,262	▲ 775,038

〈特別会計 (周年行事積立金)〉

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰越金	1,580,917	1,380,905	200,012
積立金	800,000	200,000	600,000
寄 付			0
利 息	200	200	0
合 計	2,381,117	1,581,105	800,012

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
会 議 費	50,000	0	50,000
会 報 費	3,200,000	3,200,000	0
通 信 費	300,000	300,000	0
部活動補助	400,000	300,000	100,000
卒業記念品	300,000	200,000	100,000
設備整備費	0	0	0
交 通 費	100,000	50,000	50,000
事 業 費	200,000	200,000	0
施設修繕補助費	700,000	2,500,000	▲ 1,800,000
雑 費	30,000	30,000	0
周年行事積立金	800,000	200,000	600,000
予 備 費	271,224	146,262	124,962
合 計	6,351,224	7,126,262	▲ 775,038

備 考

会 報 費：「うしお」印刷費用、送料
通 信 費：電話代、ホームページ管理費用、切手代、OCN利用料
部活動補助：関東大会、全国大会出場祝い
交 通 費：ボランティア交通費
事 業 費：同窓会応援金
雑 費：事務所経費

平成
29
年度
収支
予算
(案)

※ 平成 28 年度会計決算報告及び平成 29 年度会計予算は、平成 29 年 6 月 24 日に開催されるうしお会総会において審議されるものです。尚、審議の結果修正された場合は、同窓会ホームページでお知らせ致します。

吉諸島石有島岩阿内井村伊渡関小北野村石志橋外橋角三神脇塚山川納光仲大菱島 S 城金林
 村石 清村崎出部田原木藤邊根林野尻木井和池本尾本田富木谷川本口次谷永村塚山崎 36 子
 昭 義水克正 康節清道暢一拓信弘章圭和庸久順 美 正正る 早和和祥州泰昌庸 隆洋尚
 三伝明武彦己章徳男隆彦夫郎司子恵子子男一子子直子哲恵暢み苗男男子夫基洋子 男二子

小根犬木 S 向杉牧田太宇谷高友小大内村土下島川田丹秋大上渡青栗石若浦高小小小柘石吉 S
 笠岸塚村 38 窪沢野中田佐岡橋野林谷田田橋里村添辺間元山原辺木田井宮田橋森川林植原井 37
 原 久美智 賢昌久美 建長勝洋忠邦和文洋 忠 謙 康英保洋明三康崇曠孝玲 俊淳弘紘
 麗苗謙美 子子豊三治子介潤利一男夫代子一讓茂子二男詔裕一子郎子令義久子透一平行一
 子子蔵子 子子

益林長徳森三中石齊大林伊増新大成千加大土田柴河鈴田中岡内阿柎曾中明平芳宮山富早長谷川正義和里
 子 谷永岡鸞澤川藤森川奈田倉杉田野藤野屋野田辺木中沢野田住田根島楽井賀本本永川安貴 38
 忠 和和康恵 晴 敏義英千 岩光貴謙光博一一信義範 恵も 泰清 太口 清捷勝 見子
 滋宏雄悟歎久宏子子美徹忠彦明雄代勤男夫弘一良之道郎雄昭子子子夫一進郎子子雄見子美

小公飯森久山有齊城星落金末水 S 伊三田杉香奥唐深村稻最遠東須脇丸鶴寺石奥大菅佐浜川 S
 杉平野 世田馬藤之野合井村津 40 藤浦辺崎西富沢田上葉首藤儀一川山田井田夕マ 野井野田島 39
 尚伸千広善之鶴 和礼昭一邦 敬 和和修英文順 知庸雅洸光 和 典謙マ 保伸順士 和律
 世夫代人雄久子子子徳郎之登子 仁夫郎三史和子浩己之子一江明子淳子一子男子子子子夫子

小上渡寺一清後寺後上奥鎌山石石土渡森森森増福原西北小飯小蝦篠鷹長佐布磯伊加大小三飯
 泉山辺尾ノ水藤田藤野村田口山橋江辺川井 田住田村野原塚川名原 谷藤施田藤藤島山浦田
 真一滋倆 早昌ツ宏 紀郁明 矩好知雅隆悦隆一 章次 正芳容赫建 幸 樹 道敏さ 国幸直太
 稔照夫郎一苗男コ子子子子彦晃久美行光夫郎之郎夫郎行行晟子男淳子淳子子明と夫子之郎宏

藤富小尾宇内岩増新宇 S 三勅河加中高馬小斎中三深石宮田浜今 S 佐伊安阿高石藤東鈴進三齊
 林山坂島津田沢子井佐橋 41 使原藤橋場室藤嶋橋澤渡浦尻田泉 41 藤佐齊山山田省三 城坊木藤村藤
 茂 良 哲 博 美 尊 晃 明 子 子 夫 郎 治 明 代 夫 弓 史 啓 博 子 郎 厚 亮 二 男 子 享 郎 子 子 子 毅 二
 明樹浩二郎進晃子進尊 晃 明 子 子 夫 郎 治 明 代 夫 弓 史 啓 博 子 郎 厚 亮 二 男 子 享 郎 子 子 子 毅 二

牧馬新高駒北山柳家三深河安野長前林塚黒東田菘渡松前富武太渡矢森宗松淵中千小岡植今長
 山場居橋崎岡口本寿崎澤野宅上田田 谷 沢山 中 辺尾東塚井田辺沢田野沢上出野野本木井嶋
 陽敏正健慶正幸成多芳宗通 恵恵 是進 出美 敏純治研和 昭有節則豊恭裕祐 治菊正津
 一郎雄次夫子枝生誠陽一晴仁子子旭清一男子恵二隆正宏子子光三文尚悟浩浩男治雄子

小黒大宮岩冲前皆寺小加土笠棚増磯鎌町小洪蝦桑西土上津岡永友高 S 麻三松増森立鈴相石倉
 林田野沢田川田杉藤屋原原田貝田田島谷名本村佐南緒 42 生木村田川川木良川本
 和紀知 英リ 一 啓孝一次 甫知英 由隆啓清和友緒 志 陽る 憲秀 蒔栄和 隆 康英中蓉
 義男子博明コ肇敏優治郎郎倭幸俊豪紀雄子志忠子子治教子み定一 絵子子子満誠博正子子

福小諸山大美森小樽内川中内不高皆山石荻深 S 町佐阪國箕延得関塩川加池渡庄小中本伏千
 山久隈修一ノ栄 田竹原田鈴章 味美砂 新秀 典保哲 敏 英 井久美 43 長々木知恵 洋 正裕幸恭 マ恵久 純利正
 俊真和 栄子子枝文り子二子緑子男次明明子樹博子 子子子純徹博憲充一行隆博リ子男子郎明義

渡千水菊岩岩鶴醍富中清正中細山高後平S風石青由山角加田田山合畑秋渡荒東佐S石横米西
辺葉|地崎井谷翻井西水木村野野哲也/尚和子彰里子彦尚子夫信淳則子澄生里澄代信美孝也子明子剛
孝香桂代佳佳豊一晶哲智/尚和子彰里子彦尚子夫信淳則子澄生里澄代信美孝也子明子剛
代里子美子子子幸夫子也滋樹子彰里子彦尚子夫信淳則子澄生里澄代信美孝也子明子剛

飯加荒緑飯三石櫻田糸駒長北遠小樋土関S山瀬藤志庄小佐芹五岩松上神米船畑S藤松浜岩水
島藤井川島上川井中崎山藤林口田根60崎谷島賀畑川十嵐一/由希治恵進愛司景保海彦子子子
明淳健昌和友晋夏恵則敬純吉洋公宏陽智政隆由希治恵進愛司景保海彦子子子
子一介明陽之淳子行司嗣子子子仁子子見子重幸子彦士史子治恵進愛司景保海彦子子子

須小H佐戸高鈴中及長田榊石S伊中荒小角樋大橋竹阿齋内井猪津S山坂松奥中真風小堤本S
藤野1藤村橋木山川尾野岡原渡63澤河井掛樋口嶋本居部藤藤上ヶ田62田井下戸林田見出吉61
浩史朗呂良み誠由京孝正理直淳博千正花健貴陽さ佳浩美大お徹
平生子子潮美康ほ二子子操次英史美子博子織浩子夫子宏子ほ嗣子二仁子介り雄圭剛

川阿小H藤小井穴池松H海北板西横新岩石野齋吉柴倉山水近山H松桜加小稻齋井山堀藤山高
島部坂4曲宮上倉本下3老田橋村田海田井田藤田崎方本上藤本2田井藤川留藤元鳶井間村橋
光貴賢一和勝文敬希夕成麻幸あ貴克紀英智祐宗正太陽美康敬計昌武裕有晃崇美
弘行司郎美信子邦聡子ミ政理郎や信典子則悟則子吾紀郎子子史子介子晴史一夫誠之和

橋桜H小石新鈴H横落保岡H倉安有辻福H深山山小H樋真長浜奥森園H小江長H相沼早H
本井12賀渡井木11山合科崎10田斉馬村室9川崎崎野8口坂瀬本村高田7倉尻澤6原上川5
健野清彰重正健智健功直奈裕穂穂康曉智篤輝治秀幸一
晃丞健午弘雄見志久愛造平巳子之介子子優博亮徹子英宏史城史子代郎崇

石松H小武H松田H木佐瀧H龍土鈴野池森H伊岩角H能小角多小藤富石H柳齋田H安小H
神本21野塚20岡中19村藤野18前肥木澤田17東阪田16村池田田野田井15沢藤中14田原13
直健理達裕唯謙菜沙倫哲聖佑晴武祥正泰祐直未直奈伸
昂也太晃子司也作翠似仁子知子也美子彩輝美頼平人弥輔樹紀道翼緒也

有古加伊矢泉坂山鈴鈴北渡H中鈴山青林黒石古白堀H中江深石H石中大塩長H重大田金田H
村川藤り亜成雄一香香美雄誠芽慧愛利健有直涼景陽京雄将應佑集哲真友
賢広直り沙成雄一香香美雄誠芽慧愛利健有直涼景陽京雄将應佑集哲真友
人大輝か美美平郎椰椰佐真諒行似太美絵太誠誠希斗香應子優子介平秀子人人代美

② ① 個人協賛者で卒年が不明な方 (卒年度を知らせて下さい)
清水衛 カオリ
窪笠天松辻瀬荒加中北渡石佐H柏田菅稲中川金遠高石川岩田藁H山熊尾中池
田川野村村川木藤村村辺垣藤28木原野津本子藤山原村田川科27田谷方島ノ
隆甲咲綾俊真緒々龍俊城美健孝花結萌雄裕彩和悠南雅拓千彩希佳
正樹希夏介生里子介樹也希介太帆和奈美太亮佳也飛海亮輝実聖繁華子美

内訳：ゆうちょ銀行へのお振込み 537件 1,554,050円
コンビニエンスストアでのお振込み 753件 2,143,872円
横浜銀行へのお振込みおよび現金 45件 374,388円
参考：2016年度は 1,230件 3,858,416円

山林大浦中漆工小及
下屋壁林畑藤畑川
祐義慶実真龍正
貴徳典子菜航介駿子

平成29年度総会 & 懇親会のお知らせ

昨年も総会、懇親会を行い、幅広い年代の多くの方にご参加いただき楽しく過ごすことが出来ました。

本年も、以下の通り総会 & 懇親会を行います。多くの方にご参加いただき、新しいうしお会の方向を話し合ひましょう。懇親会には、今回も、多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。ご家族、お子様をお連れになってのご参加も歓迎いたします。

■ 平成29年度総会 ■

以下の日程で行われます。

日 時：平成29年6月24日(土) 11:00～12:00

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール
(旧図書館の場所)

対 象：うしお会会員(鎌倉高校卒業生)
でしたらどなたでも

議 事：(1)平成28年度事業報告について
(2)平成28年度会計決算報告について
(3)平成28年度会計監査報告について
(4)平成29年度事業計画案について
(5)平成29年度会計予算案について
(6)平成29年度役員について
(7)その他



写真は昨年6月の様子

うしお会 懇親会のご案内

今年度も、総会終了後、懇親会を開催します。年齢を超えた先輩後輩の親睦を深めましょう!!

日 時：平成29年6月24日(土) 総会終了後12:30頃から

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール前の中庭(雨天の場合はホール内)

対 象：うしお会会員(鎌倉高校卒業生)でしたらどなたでもご出席いただきたく存じます。
また、ご家族の皆様もお連れ下さい。

参加費：1,000円(小学生以下無料)

申込み：うしお会のホームページよりメールフォームまたはファックスにてお申し込み下さい。



昨年6月の記念撮影

役員役割分担

- 会長 渡辺 晃 (S47年卒) 総括
- 副会長 森田豊文 (S41年卒) 会報(総括補佐)
- 同 堀 英彦 (S46年卒) 総務(名簿担当)
- 同 高橋 建二 (S46年卒) 総務(会計担当)
- 書記 奥村砂智子 (S51年卒) 総務
- 同 渡邊葉子 (S53年卒) 総務
- 同 田川由佳 (S54年卒) 総務(90周年担当)
- 同 安井弘子 (H4年卒) 総務
- 同 梅津美葉 (H5年卒) 総務
- 同 桜井 淳 (S55年卒) ホームページ
- 同 富田朝子 (S50年卒) 会報
- 同 叢 秀樹 (S51年卒) 会報
- 同 石橋 淳 (S51年卒) 会報
- 同 佐藤幸恵 (S62年卒) 会報
- 監査役 深澤隆史 (S41年卒) 会計監査

相談役 増田隆之 (S40年卒)
同 鈴木勝貴 (S45年卒)

※役員役割分担は、平成 29 年 6 月 24 日に開催されるうしお会総会において審議されるものです。尚、審議の結果修正された場合は、同窓会 ホームページでお知らせ致します。

学校側役員

- 校長 真壁 広道
- 副校長 齋藤 和宏
- 教頭 峰 治 (S56年卒)
- 総務教諭 原 慎二

編集後記

今回の第 36 回「うしお」は、内容的に非常にバラエティーに富んでおり、皆さまに楽しんでもらえる会報になったと思います。原稿を提供して下さいました方々に感謝いたします。これからも、皆さまの体験談等原稿の提供をお願いいたします。前回の「うしお」でもお伝えしましたが、まだ住所不明で「うしお」が返送されるケースが多いです。クラス会、同窓会等でお互いに「うしお」が届いているか呼びかけをお願いいたします。

「みんなで作るうしお」…投稿・ご意見募集!!…

同窓会「うしお会」は、県立鎌倉高校を卒業した方なら、卒業と同時にめれなく会員となっております。在学中、楽しかった人も楽しくなかった人も、卒業後は新たに世代を超えた先輩・後輩・同輩との交流ができることと思います。世代は違っても、鎌高らしい自由でユーモアあふれる仲間と、同窓会「うしお会」を通してリンク(つながって)していきましょう!!

会では、会報誌「うしお」や同

窓会ホームページをもっと沢山の方々に利用し、楽しみ、仲間の輪を広げていただきたいと思っております。そこで、「みんなで作るうしお」と題して、投稿やご意見を募集しております。同窓会でこんな行事してほしい。(講演会、合唱コンクール!?: : e t c.) 活躍する鎌高卒業生、鎌高卒の有名人、鎌高卒の方のお店紹介。私こんなことやってます。是非見て、聞

❖ 広告募集 ❖

会報「うしお」の広告を募集しております。厳しい経済環境ではありますが、会員皆様のより一層のご協力とご理解を、お願い申し上げる次第です。

- 料金 / 一 枠 : 10,000 円
- お問い合わせ先 : うしお会 広告事務局
☎ 0466-25-1035
✉ pet@toretate-shonan.com

県立鎌倉高校同窓会「うしお会」事務局
メール :
Email:kamakako@ceres.ocn.ne.jp
Fax : 〇四六七-三九一三六六八
ホームページアドレス :
http://www.ushiokai.net.

インターネットでどんどん広がる「うしお会」

<http://ushiokai.net>

うしお会

で検索!

会報誌「うしお」のウェブ配信はもちろん、同窓会情報など多くの同窓生にとって、いつも新しい情報が掲載されていて、アクセスするのが楽しいホームページです。

ポイント!!

1. 会報誌「うしお」Web 版が配信されています。
2. 住所が変わった方から簡単にご報告いただけます。
3. 各年代で行われる、または行われた同窓会情報をご覧ください。
4. 同窓会情報のページはインターネット上で情報交換が可能です。
5. facebook でも「うしお会」仲間がグループを作って情報交換中です!
facebook を楽しんでいる人達の間で自然発生的に出来上がった「鎌高 OB・OG の facebook のグループ」には現在約 200 人超のうしお会の会員が参加しています。
ここでは日々の鎌高 OB、OG の活躍の話題などが情報交換され、そして年代を超えたソーシャルネットワーク上のコミュニケーションが行われています。「友達を検索」してみてください!!

お名前とメールアドレスをご連絡ください。事務局からご招待のメールをお送りいたします。

うしお会事務局のボランティアを募集しています!

E-mail: kamako@ceres.ocn.ne.jp

<<mailto:kamako@ceres.ocn.ne.jp>>



発行所
 二〇一七(平成29)年
 五月三〇日

発行所
 神奈川県立
 鎌倉高等学校・同窓会
 潮会
 鎌倉市七里ヶ浜
 二一二十一ー一
 事務局直通
 (TEL/FAX)
 〇四六七
 三九一三六六八



<http://www.ushiokai.net>

E-mail: kamako@ceres.ocn.ne.jp